

2010年06月18日版  
意見照会用

洪水災害被害想定データ  
製品仕様書（事務局素案）

平成22年6月



# 目次

---

1. 概覧.....	1
1.1. 地理空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2. 目的.....	1
1.3. 空間範囲.....	1
1.4. 時間範囲.....	1
1.5. 引用規格.....	1
1.6. 用語と定義.....	2
1.7. 略語.....	2
2. 適用範囲.....	2
2.1. 適用範囲識別.....	2
2.2. 階層レベル.....	2
3. データ製品識別.....	3
3.1. 地理空間データ製品の名称.....	3
3.2. 日付.....	3
3.3. 問合せ先.....	3
3.4. 地理記述.....	3
4. データ内容及び構造.....	4
4.1. 応用スキーマUMLクラス図.....	4
洪水災害応用スキーマパッケージ図.....	4
浸水想定区域データパッケージ.....	5
浸水想定区域メッシュパッケージ.....	6
浸水想定区域被害額メッシュパッケージ.....	7
浸水想定エリアパッケージ.....	8
浸水想定コンターパッケージ.....	9
浸水想定区域地下鉄被害パッケージ.....	10
浸水実績区域データパッケージ.....	11
浸水実績区域メッシュパッケージ.....	12
浸水実績エリアパッケージ.....	13
浸水実績コンターパッケージ.....	14
避難時危険箇所データパッケージ.....	15
避難所データパッケージ.....	16
4.2 応用スキーマ文書.....	17
洪水災害応用スキーマデータパッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage) ..	17

浸水想定区域メッシュパッケージ	
(FloodInundationHazardAreaMeshDataPackage)	24
浸水想定区域被害額メッシュパッケージ	
(TheDamageMeshDataOfInundationHazardArea MeshDataPackage)	28
浸水想定エリアパッケージ (InundationHazardAreaSurfaceDataPackage)	32
浸水想定コンターパッケージ (InundationHazardConterminousDataPackage)	34
地下鉄浸水被害パッケージ (SubwayInundationHazardDataPackage)	36
浸水実績区域データパッケージ (InundationExperienceAreaDataPackage)	38
浸水実績区域メッシュパッケージ (InundationExperienceAreaMeshDataPackage)	39
浸水実績区域エリアパッケージ	
(InundationExperienceDamageAreaSurfaceDataPackage)	41
浸水実績区域コンターパッケージ	
(InundationExperienceConterminousLineDataPackage)	43
避難時危険箇所データパッケージ	
(DangerousPlaceForEvacuationBehaviorDataPackage)	45
避難所データパッケージ (RefugeDataPackage)	47
コードリスト (CodeList)	53
5. 参照系	57
5.1. 空間参照系	57
5.2. 時間参照系	57
6. データ品質	57
論理一貫性・書式一貫性	57
論理一貫性・概念一貫性	58
論理一貫性・定義域一貫性	58
7. データ製品配布	59
7.1. 配布書式情報	59
: 浸水想定区域 (FloodInundationHazardAreaDataPackage)	60
: 避難時危険箇所 (DangerousPlaceForEvacuationBehaviorDataPackage)	68
: 避難所 (RefugeDataPackage)	68
7.2. 配布媒体情報	71
8. メタデータ	71
8.1. メタデータの形式	71
8.2. 記載項目	71
8.3. 作成単位	71
9. その他	71

## 1. 概覧

---

### 1.1. 地理空間データ製品仕様書の作成情報

---

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：  
洪水災害データ 製品仕様書 (事務局素案)
- 日付：平成 22 年 3 月 31 日
- 作成者：内閣府
- 言語：日本語
- 分野：防災
- 文書書式：PDF

### 1.2. 目的

---

本製品仕様書は、地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.0 版に可能な限り準拠した洪水災害被害想定データを作成するために定義したものである。

本製品仕様書に基づく地理空間データ製品は、洪水災害を想定したハザードマップの作成、自治体や企業の BCP 対策の検討、河川整備計画の検討等を行う際に利用されることを期待する。

### 1.3. 空間範囲

---

本製品仕様書が対象とする空間範囲は以下のとおりとする。

- 地理要素：地理境界ボックス 範囲参照系：JGD2000/ (B,L)
- 東側境界経度：140.852 西側境界経度：139.688
- 南側境界緯度：35.739 北側境界経度：36.945

### 1.4. 時間範囲

---

期間の始まり：2010-04-01

### 1.5. 引用規格

---

- 洪水ハザードマップ作成の手引き 平成 17 年 6 月 (国土交通省 河川局治水課)
- 内水ハザードマップ作成の手引き (案) 平成 20 年 12 月 (国土交通省 都市・地域整備局下水道部)
- 中小河川浸水想定区域図作成の手引き 平成 17 年 6 月 (国土交通省 河川局治水課)

課)

- 浸水想定区域図作成マニュアル 平成 17 年 6 月 (国土交通省 河川局治水課)
- 治水経済調査マニュアル 平成 17 年 4 月 (国土交通省 河川局 河川計画課)

## 1.6. 用語と定義

---

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

■地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 附属書 5 (規定) 定義

■災害リスク情報等に係る用語辞書 ※

※洪水被害想定に係る用語の意味は、各機関において異なる場合がある。したがって、具体的な用語の意味は、「災害リスク情報等に係る用語辞書」を参照するものとする。

災害リスク情報等に係る用語辞書の URL : <http://202.214.27.244/smw/sample/>

## 1.7. 略語

---

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

■ JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards

■ JMP Japan Profile for Geographic Information Standards

■ UML Unified Modeling Language

## 2. 適用範囲

---

### 2.1. 適用範囲識別

---

洪水災害被害想定データ製品仕様書適用範囲

### 2.2. 階層レベル

---

データ集合

### 3. データ製品識別

---

#### 3.1. 地理空間データ製品の名称

---

洪水災害被害想定データ

#### 3.2. 日付

---

2010-03-31

#### 3.3. 問合せ先

---

内閣府（防災担当）

電話：

FAX：

Email：

#### 3.4. 地理記述

---

日本全国

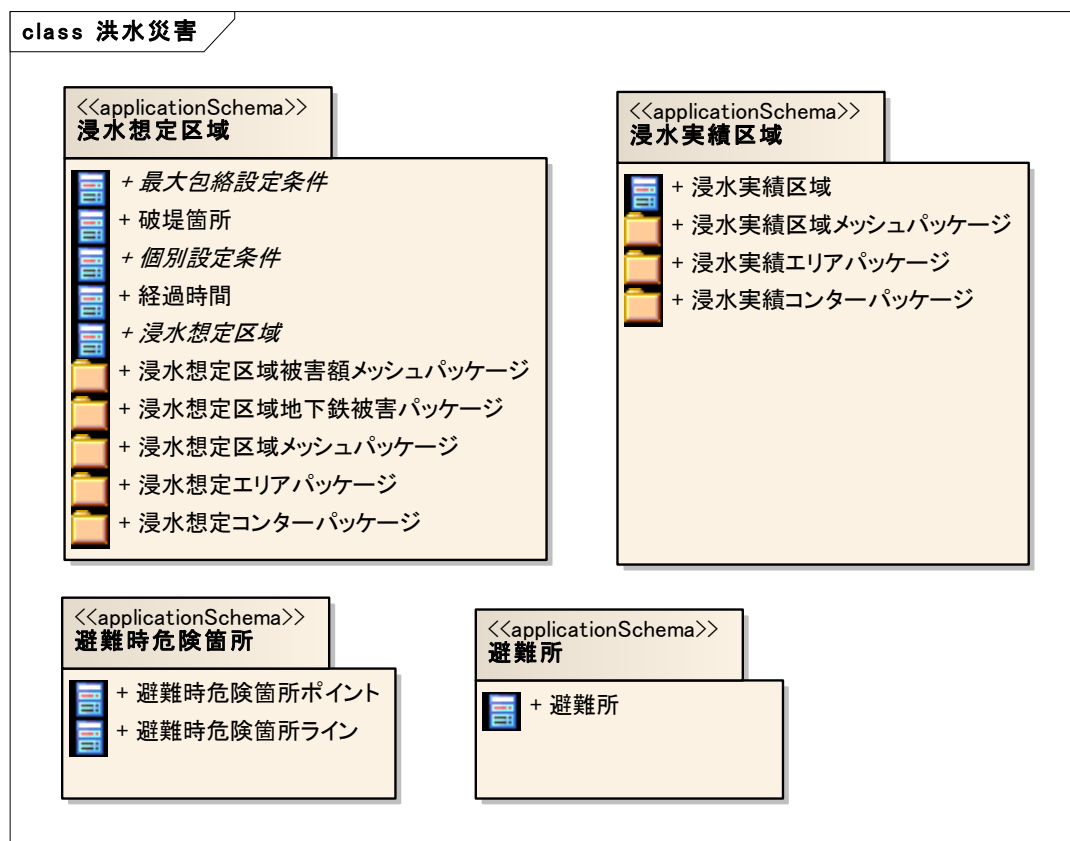
## 4. データ内容及び構造

### 4.1. 応用スキーマ UML クラス図



#### 洪水災害応用スキーマパッケージ図

洪水災害応用スキーマパッケージ図を以下に示す。

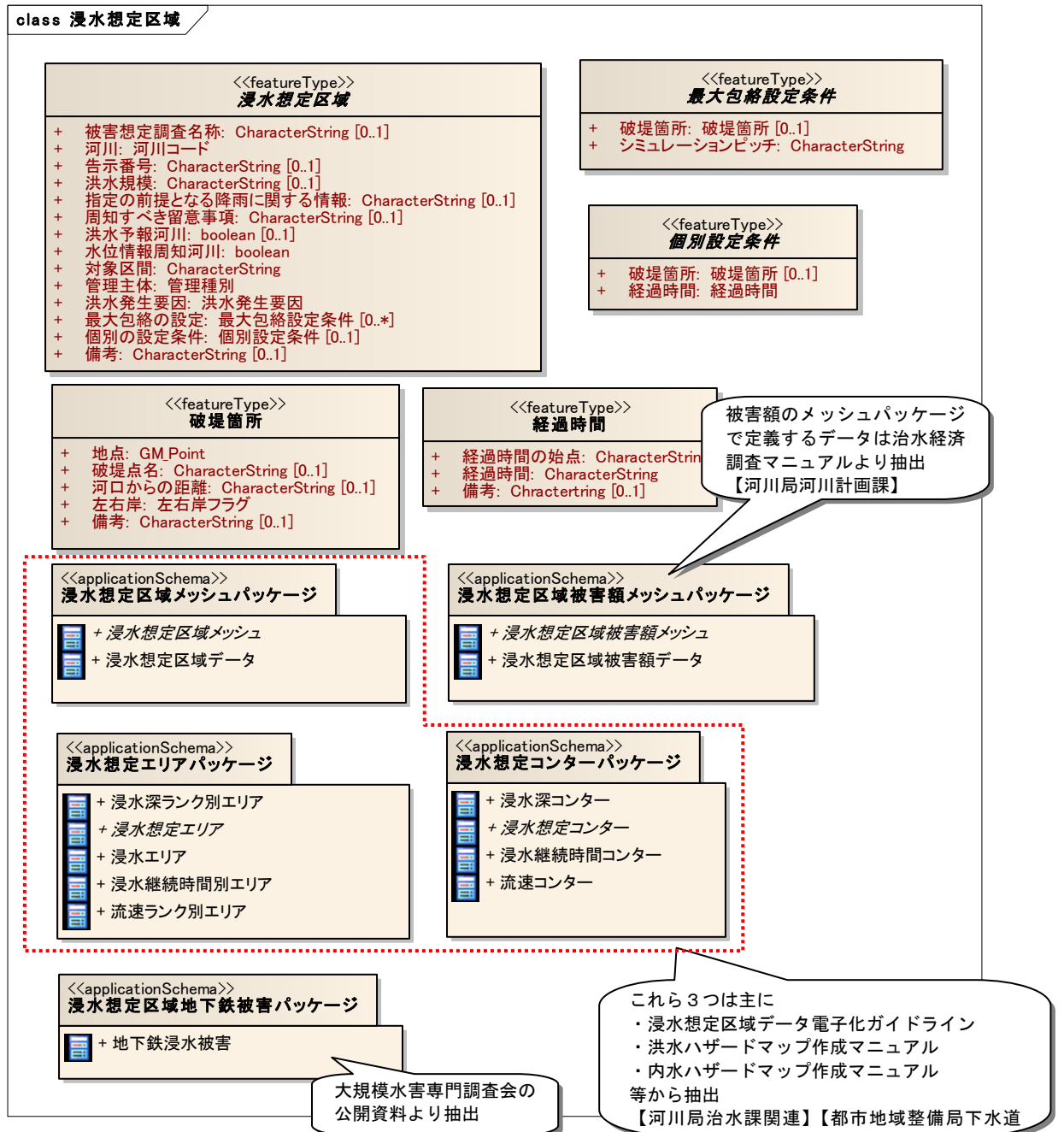


- 洪水災害に関する災害リスク情報を上記のように4つに大分類した。



## 浸水想定区域データパッケージ

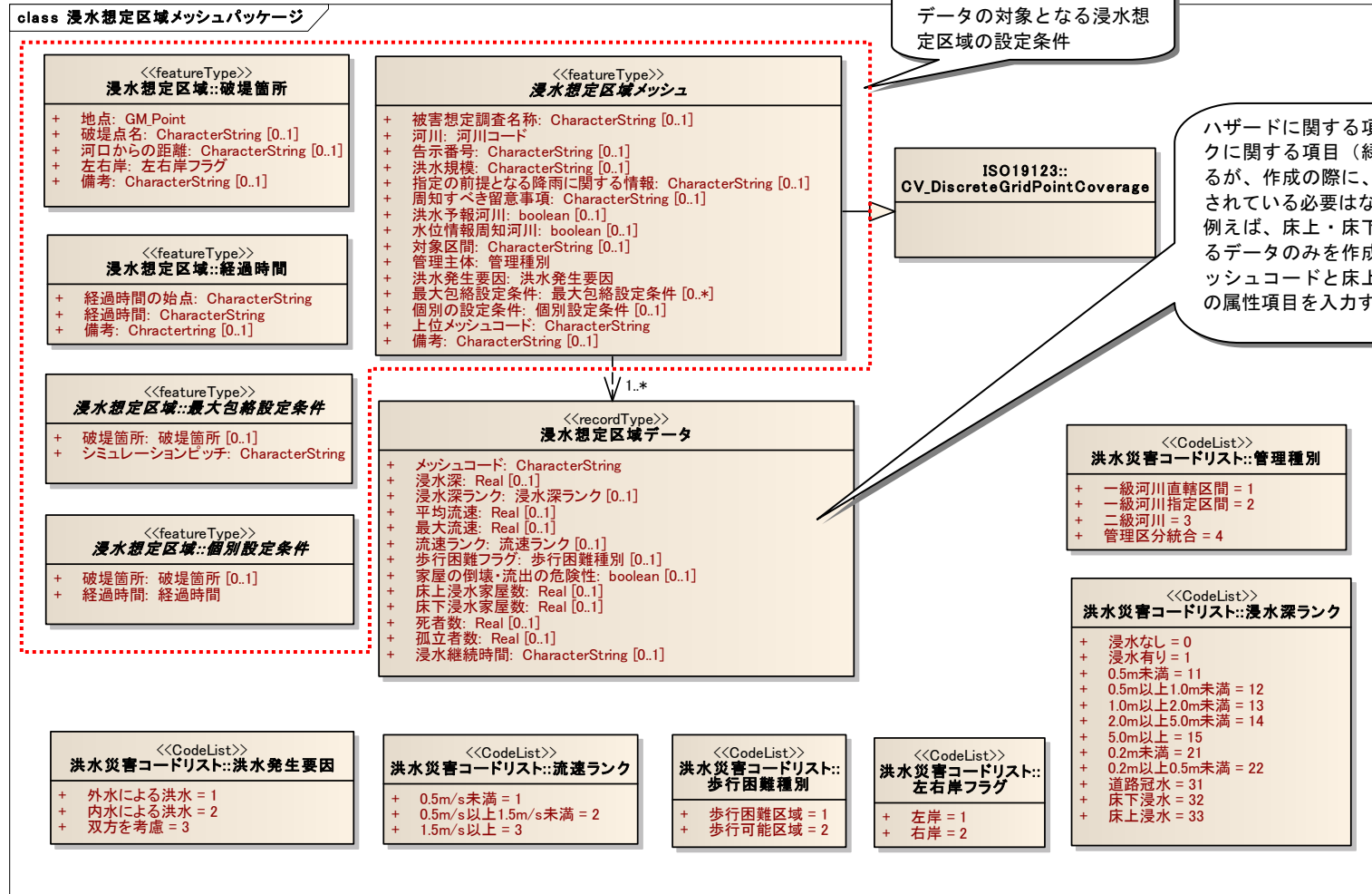
浸水想定区域のデータパッケージのクラス図を以下に示す。



- 大分類されたうちの1つの「浸水想定区域データパッケージ」をさらに、データ様式（メッシュ・エリア・コンター）の違い等を基に分類した。
- メッシュデータは被害額とそれ以外のメッシュデータを分けた構造にした。

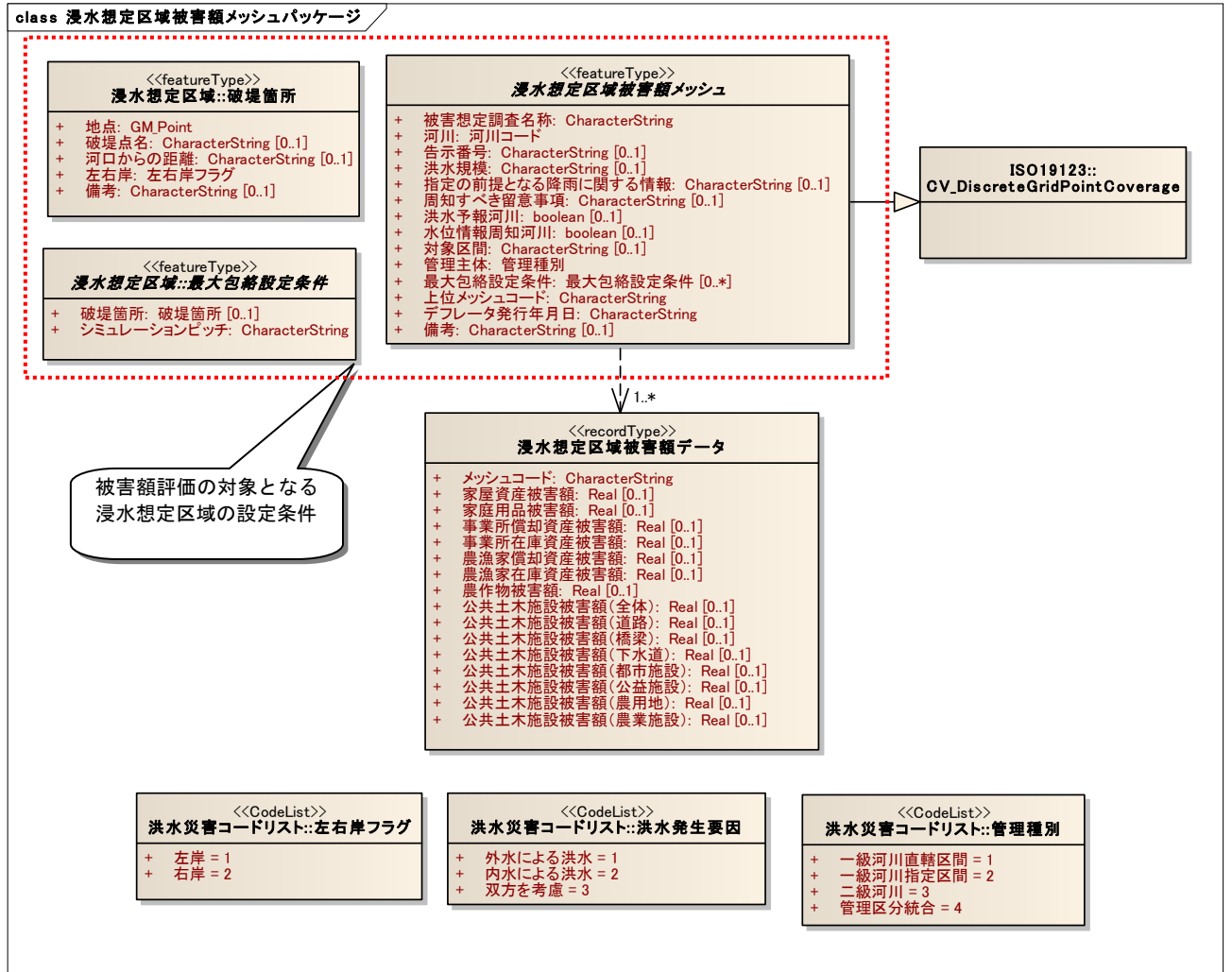
## 浸水想定区域メッシュパッケージ

浸水想定区域メッシュパッケージのクラス図を以下に示す。



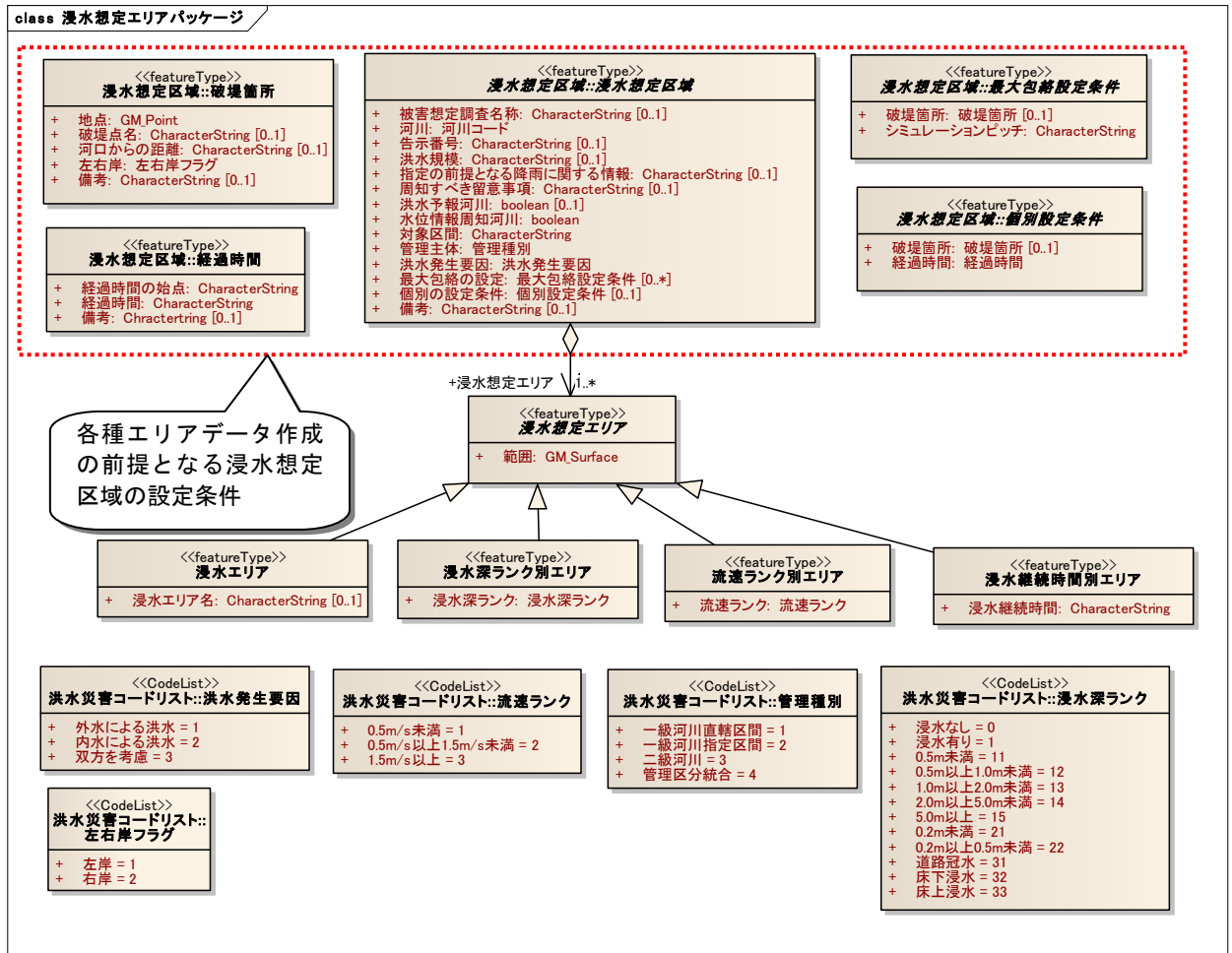
## 浸水想定区域被害額メッシュパッケージ

浸水想定区域被害額メッシュパッケージのクラス図を以下に示す。



## 浸水想定エリアパッケージ

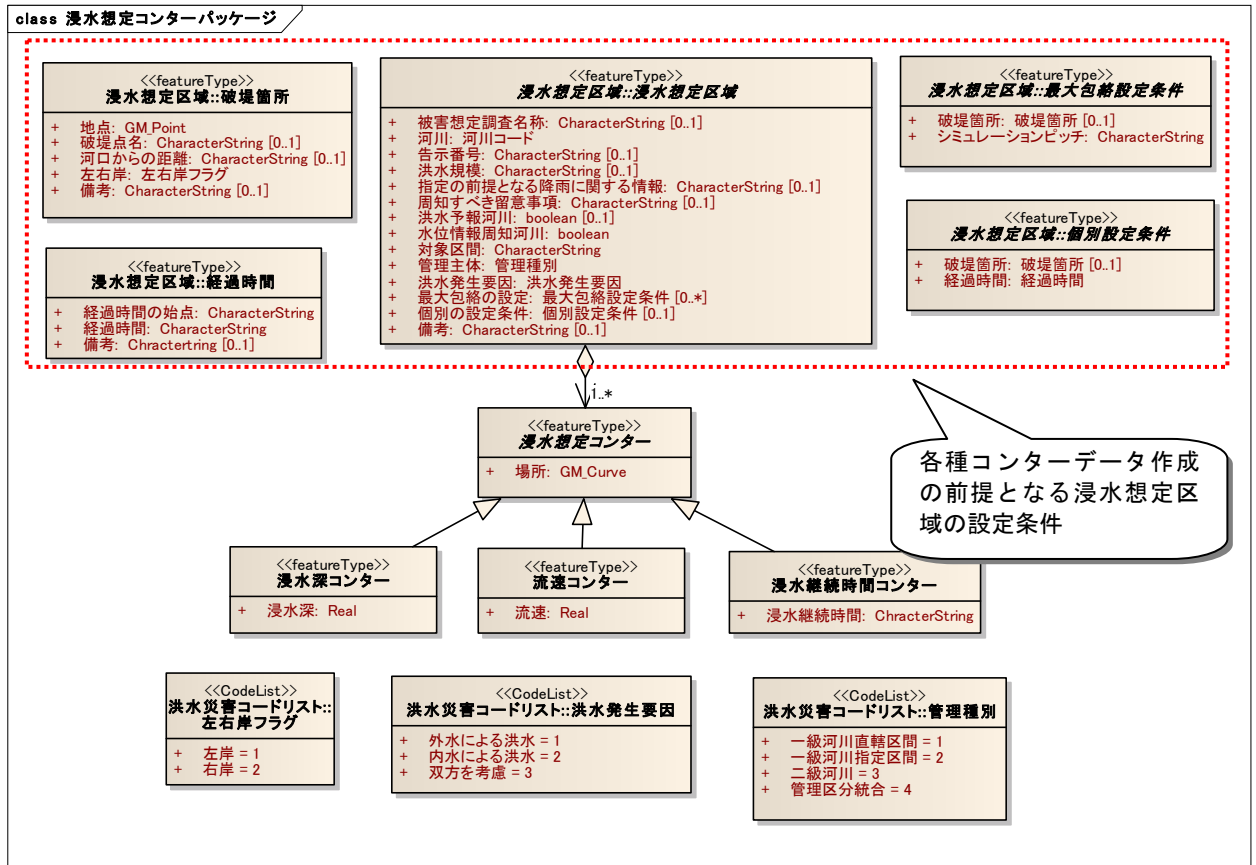
浸水想定エリアパッケージのクラス図を以下に示す。



- 浸水想定区域を面データであらわす場合のデータ構造として、上記のようにエリアの属性に応じてクラスを分けた。

## 浸水想定コンターパッケージ

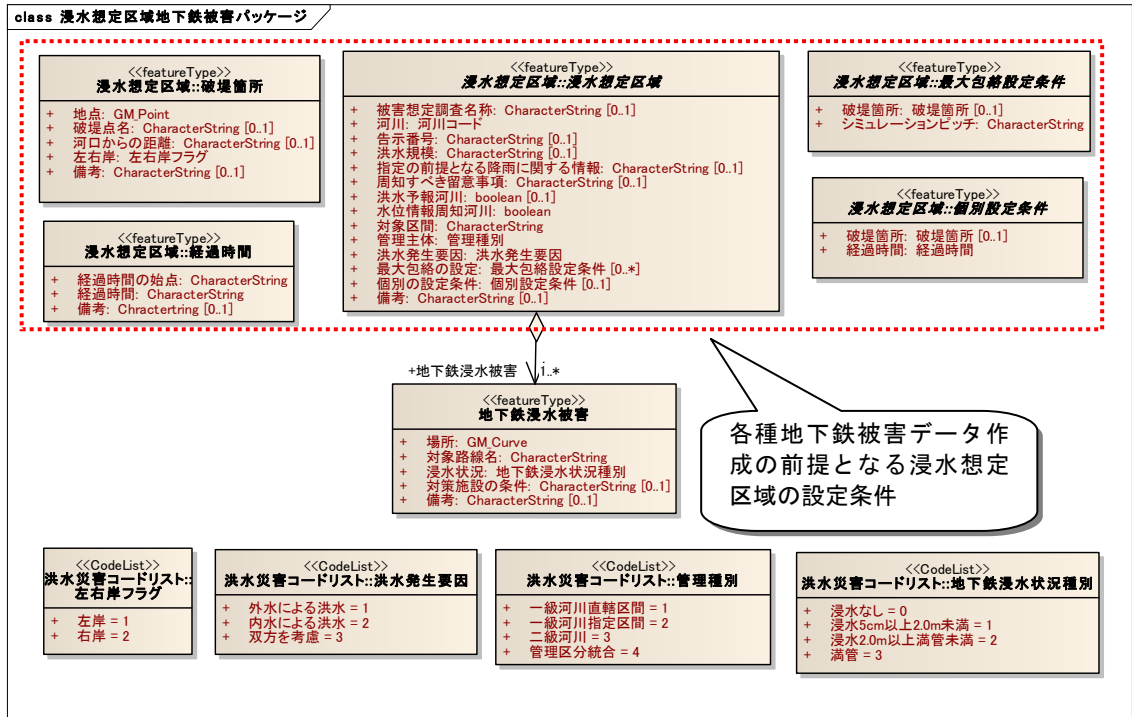
浸水想定コンターパッケージのクラス図を以下に示す。



- 浸水想定区域を任意の属性の等値線のコンターデータであらわす場合のデータ構造として、上記のように等値線を示す属性の種類に応じてクラスを分けた。

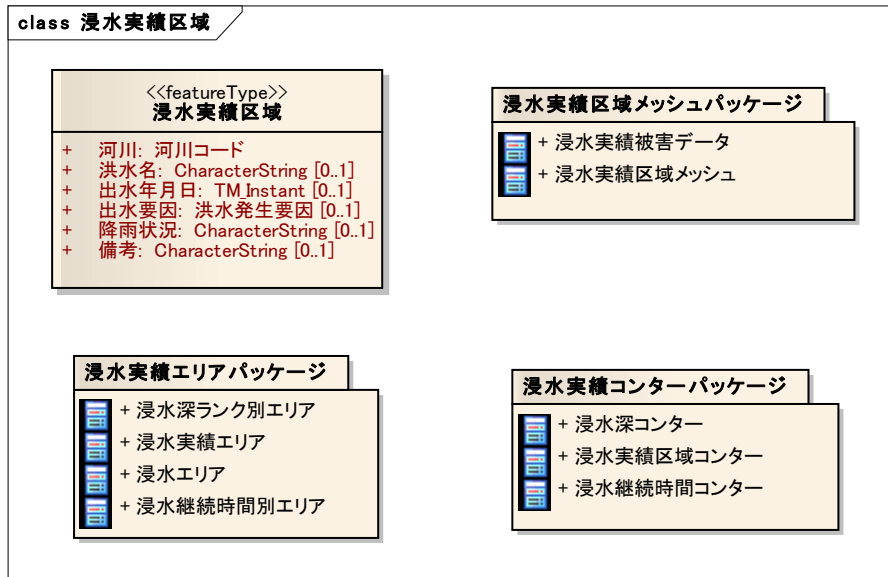
## 浸水想定区域地下鉄被害パッケージ

浸水想定区域地下鉄被害パッケージのクラス図を以下に示す。



## 浸水実績区域データパッケージ

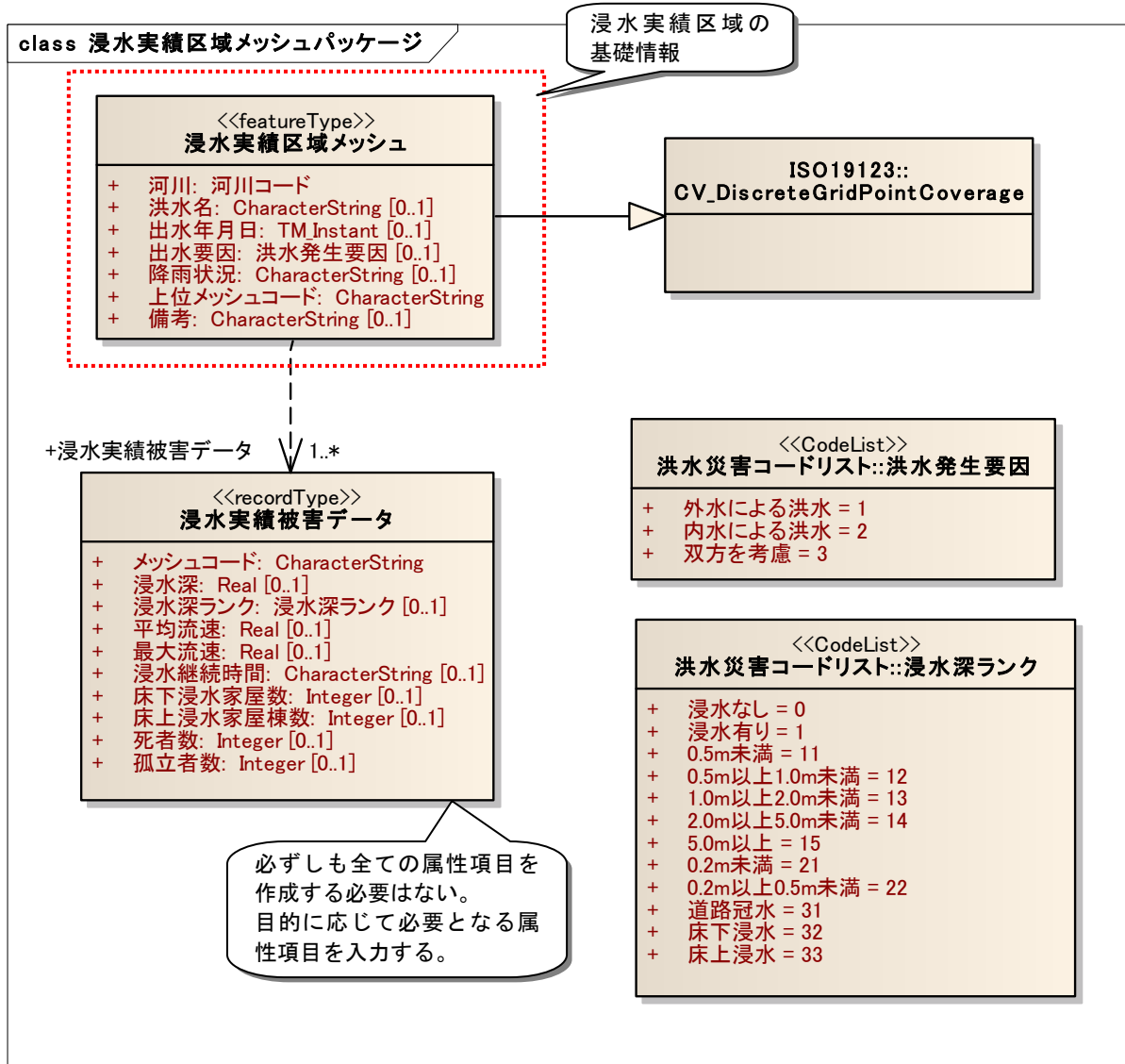
浸水実績区域データパッケージのクラス図を以下に示す。



- 洪水災害を3つに大分類にしたうちの1つの「浸水実績区域データパッケージ」はデータ様式（メッシュ・エリア・コンター）をもとにさらに3つのパッケージに分類した

## 浸水実績区域メッシュパッケージ

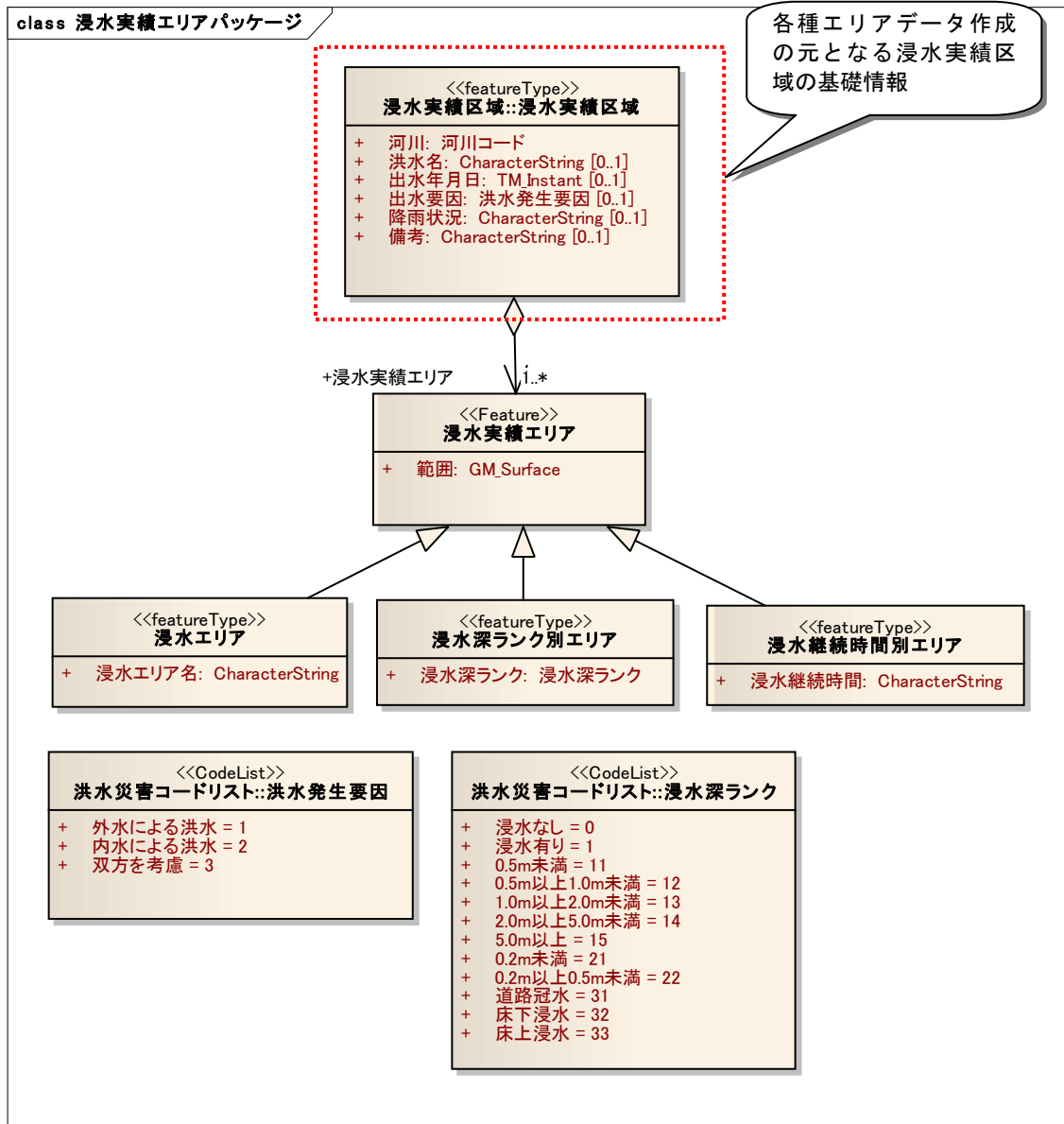
浸水実績区域メッシュパッケージのクラス図を以下に示す。





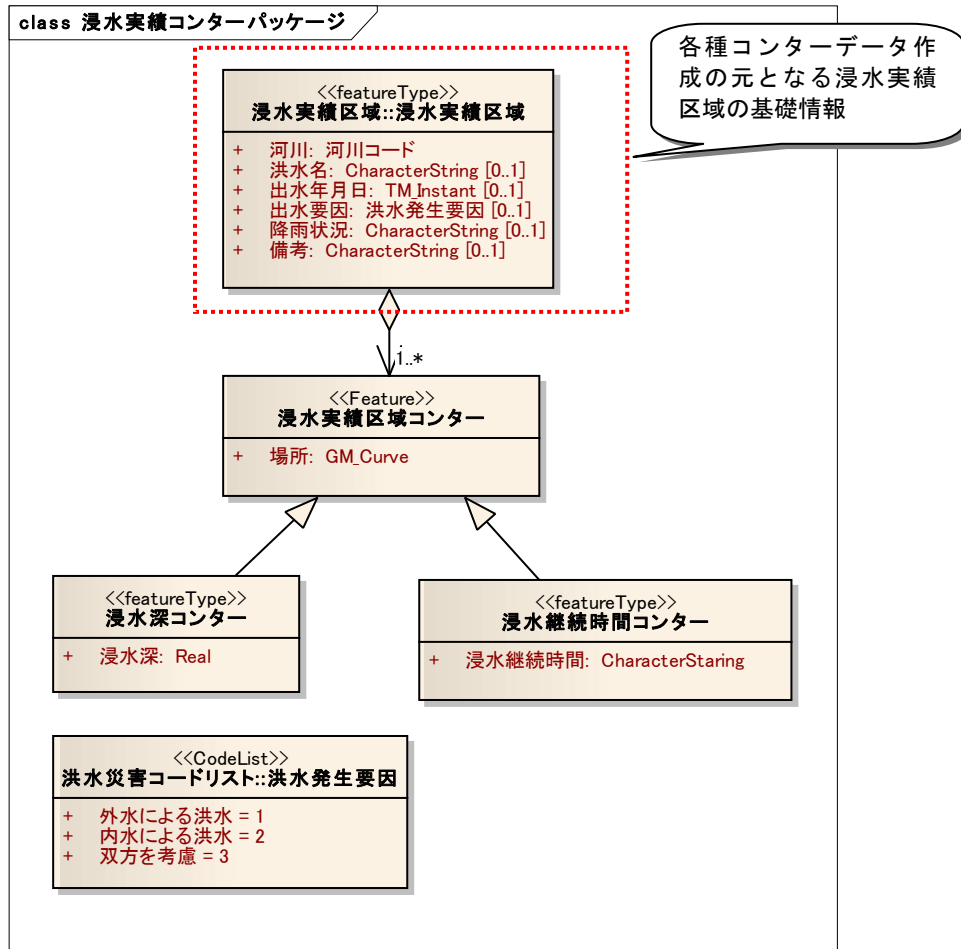
## 浸水実績エリアパッケージ

浸水実績エリアパッケージのクラス図を以下に示す。



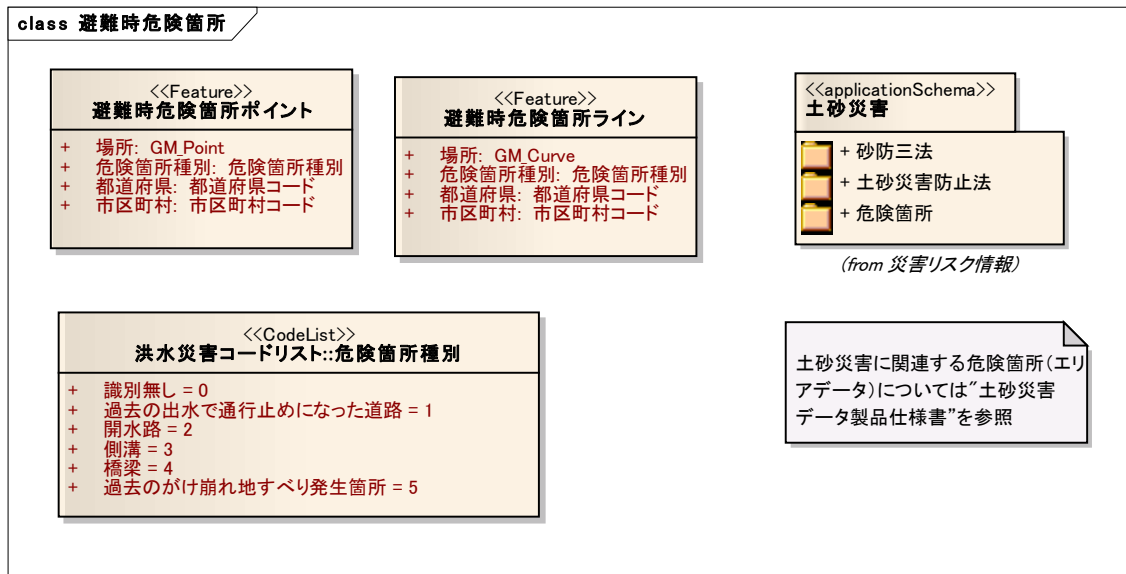
## 浸水実績コンターパッケージ

浸水実績コンターパッケージのクラス図を以下に示す。



## 避難時危険箇所データパッケージ

避難時危険箇所データパッケージのクラス図を以下に示す。



- 洪水災害を3つに大分類にしたうちの1つの「避難時危険箇所データパッケージ」はデータ様式(ポイント・ライン・エリア)をもとにさらに3つのパッケージに分類した
- そのうち、エリアデータについては、データ項目が重複するため土砂災害データ製品仕様書を参照して作成する。

## 避難所データパッケージ

避難所データパッケージのクラス図を以下に示す。



## 4.2 応用スキーマ文書

---

### 洪水災害応用スキーマデータパッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)

#### 定義

---

洪水によるハザード（浸水区域・浸水深・浸水継続時間等）情報及びハザードによるリスク情報（人的被害、建物被害、資産被害額、農作物被害額、公共土木施設被害額）および、避難時の危険箇所に係る情報を被害想定データとして定義したパッケージ。

#### 対象地物

---

浸水想定区域、経過時間、破堤箇所、最大包絡設定条件、個別設定条件、浸水想定区域メッシュ、浸水想定区域データ、浸水想定被害額メッシュ、浸水想定被害額データ、浸水エリア、浸水想定エリア、浸水深ランク別エリア、流速ランク別エリア、浸水継続時間別エリア、浸水想定コンター、浸水深コンター、流速コンター、浸水継続時間コンター、地下鉄浸水被害、浸水実績区域、浸水実績区域メッシュ、浸水実績被害データ、浸水実績エリア、浸水実績区域コンター、避難時危険箇所ポイント、避難時危険箇所ライン、避難所

#### 注意事項

---

### 浸水想定区域データパッケージ (FloodInundationHazardAreaDataPackage)

#### 定義

---

浸水想定区域の設定条件や浸水想定区域内の浸水や流速、および家屋浸水被害や人的被害や地下鉄浸水被害や、浸水による資産被害額を、浸水想定区域データとして定義したパッケージ。

#### 対象地物

---

浸水想定区域、経過時間、破堤箇所、最大包絡設定条件、個別設定条件、浸水想定区域メッシュ、浸水想定区域データ、浸水想定被害額メッシュ、浸水想定被害額データ、浸水想定エリア、浸水エリア、浸水深ランク別エリア、流速ランク別エリア、浸水継続時間別エリア、浸水想定コンター、浸水深コンター、流速コンター、浸水継続時間コンター、地下鉄浸水被害

#### 注意事項

---

## 浸水想定区域(FloodInundationHazardArea)

### 定義

浸水想定区域の対象河川や、浸水想定区域の管理主体等の基本情報を定義するクラス。

上位クラス：

抽象／具象区分： 抽象地物

### 属性

#### 被害想定調査名称 [0..1] : **CharacterString**

浸水想定区域の作成や、リスク被害想定を行った際のプロジェクト名称を記載する。

例：平成〇年度〇県洪水ハザードマップ作成における被害想定調査

#### 河川 [1] : 河川コード

浸水想定区域を設定した対象河川の河川コードを記載する。複数ある場合は全て記載する。

河川コードは国土交通省河川局による河川コード仕様書(国土交通省か選挙区 H17.4)で規定される個別の河川を一意に特定するために付与された10桁の番号。

※浸水想定区域電子化ガイドラインでも当該の河川コードを採用

#### 告示番号 [0..1] : **CharacterString**

浸水想定区域の告示番号(告示された浸水想定区域のみ)

例：国土交通省〇〇地方整備局告示第△△号(平成〇〇年〇月〇日付け)

(「浸水想定区域図作成マニュアル」を一部引用)

なお、告示番号がない浸水想定区域は対象外とするという意図ではない。告示番号が設定されているものについては記載するものとする。

#### 洪水規模 [0..1] : **CharacterString**

浸水想定区域指定の前提となる降雨の発生確率年およびその雨量を記載する。

例：100年に1度の発生確率の洪水(〇〇川の計画降雨：△mm/日)。

### 指定の前提となる降雨に関する情報 [0..1] : CharacterString

浸水想定区域の指定の前提となる降雨について記載する。過去洪水を参考にする場合については、何年何月のどこで観測された雨量か、についても記載することが望ましい。

内水浸水想定区域の場合には、総雨量、1時間最大雨量、1時間未満の短時間最大雨量、生起年月日、観測場所等を記載する。（「内水ハザードマップ作成の手引き」を一部引用）

・例1：流域全体に24時間総雨量●●mm、ピーク時間雨量○○mmの降雨がある場合で概ね平成○月洪水時の雨量と同程度の降雨。

・例2：○○川流域の○日間総雨量○○mmの降雨

（「浸水想定区域図作成マニュアル」を一部引用）

### 周知すべき留意事項 [0..1] : CharacterString

浸水想定に設定されていない区域についても浸水が発生しうるものであること等必要な事項を記載する。

例：この図は、○○川水系○○川の洪水予報区間について、水防法の規定によりしていされた浸水想定区域と当該区域が浸水した場合に想定される浸水その他を示したものです。この浸水想定区域等は指定時点の○○川の河道の整備状況、△△ダムや××遊水地等の洪水調節施設及び◎◎放水路等の施設の状況等を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる概ね■年1度程度おこる大雨がふったことにより○○川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。なお、このシミュレーションの実施に当たっては支派川の氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

（「浸水想定区域図作成マニュアル」を一部引用）

また、内水浸水想定区域の場合には、放流先河川の水位設定の考え方や水門閉鎖水位、排水ポンプ場運転調整水位等についても記載することが望ましい。

（「内水ハザードマップ作成の手引き」を一部引用）

### 洪水予報河川 [0..1] : boolean

対象となる河川が、洪水予報河川に指定されている場合、「1」となる。

### 水位情報周知河川 [1] : boolean

対象となる河川が、水位情報周知河川に指定されている場合、「1」となる。

**対象区間 [1] : CharacterString**

洪水予報河川もしくは水位情報周知河川の対象区間を記載する。

例：左岸〇〇郡〇〇町大字〇〇版の〇〇地先から海まで、右岸××郡××町  
大字××番の××地先から海まで

(「浸水想定区域図作成マニュアル」を一部引用)

**管理主体 [1] : 管理種別**

浸水想定区域の設定河川の管理主体が直轄区間か指定区間か二級河川の別。  
対象とする浸水想定区域が、それらの管轄ごとではなく、管轄をまたがって  
設定されている場合には、コードリストの管理種別より管理区分統合を選択  
する。

**洪水発生要因 [1] : 洪水発生要因**

洪水の要因が外水のみによるものか、内水のみによるものか、双方を考慮し  
たものかをコードリストより識別する。

**最大包絡条件 [0..\*] : 最大包絡条件**

複数のシミュレーションにおける最大浸水深による最大包絡エリアを示す場合、  
シミュレーションパターンを設定条件（破堤箇所等）として記載する。

洪水発生要因が外水の場合、破堤点毎に当該条件を記載する。洪水発生要件が内  
水の場合、破堤点の条件は設定されないため、最大包絡条件はシミュレーションピ  
ッチのみ記載することとなる。

**個別の設定条件 [0..1] : 個別設定条件**

設定した浸水想定区域が最大包絡エリアではない場合、当該の個別の設定条  
件を記載する。

**備考 [0..1] : CharacterString**

排水施設や水門操作等の稼動条件など、浸水想定区域を設定する際の他のシ  
ミュレーション条件等があれば記載する。

関連役割

---



## 破堤箇所 (PointOfFloodLeveeFailure)

### 定義

浸水想定区域の設定状況の追加条件として、破堤箇所を定義するクラス。内水氾濫の場合には、破堤点の情報が無く、経過時間の情報のみが設定条件になる場合もある。

上位クラス：最大包絡設定条件、個別設定条件

抽象／具象区分：具象地物

### 属性

#### 地点 [1] : GM\_Point

浸水想定区域の設定条件となる破堤場所。ただし、洪水発生要因が外水による場合に記載される。内水氾濫のみを対象とした浸水想定区域図の場合には、値は記載されない。

#### 破堤点名 [0..1] : CharacterString

破堤点の名称。(俗称や破堤箇所等を名称としたもの)

例：●川■川合流点

例：●川右岸100km地点

#### 河口からの距離 [0..1] : CharacterString

破堤点の河口からの距離。単位も記載する。

例：50km

#### 左右岸 [1] : 左右岸フラグ

破堤点の左右岸の別。

#### 備考[0..1] : CharacterString

特筆すべき事項等があれば記載する。氾濫シミュレーションの条件等で破堤箇所および経過時間以外の条件(例：破堤幅、越水、等々)があればこの欄に記載する。

### 関連役割

## 経過時間 (Duration)

### 定義

浸水想定区域の最大包絡ではない個別の浸水区域の設定条件の追加条件として、破堤時間等からいつの時点の浸水区域であるかを示すためのクラス。

上位クラス：個別設定条件

抽象／具象区分：具象地物

### 属性

#### 経過時間の始点 [1] : `CharacterString`

経過時間の始点となる時間。例：破堤発生時、降雨開始等

#### 経過時間 [1] : `CharacterString`

経過時間の始点からの時間。単位は時間とする。

#### 備考 [0..1] : `CharacterString`

その他の留意事項

関連役割

## 最大包絡設定条件 (MaximumInclusionCondition)

### 定義

設定した浸水想定区域が複数のシミュレーションにおける最大浸水深による最大包絡エリアを示す場合、設定条件（破堤箇所等）を記載する。

洪水発生要因が外水の場合、破堤点毎に設定される。洪水発生要件が内水の場合、破堤点の条件は設定されないため、最大包絡条件はシミュレーションピッチのみ記載されることとなる。

上位クラス：浸水想定区域

抽象／抽象区分：

### 属性

#### 破堤箇所[0..1] : 破堤箇所

最大包絡エリアを設定する際のシミュレーション時の想定破堤箇所を記載する。

#### シミュレーションピッチ[1] : **CharacterString**

最大包絡エリアを設定する際のシミュレーションの計算間隔を記載する。

例：10 秒間隔

関連役割

---

#### 個別設定条件 (SingleSimulationCondition)

定義

---

最大包絡による浸水エリアではなく、個別の条件に基づく浸水区域を示す場合、当該条件の破堤箇所およびシミュレーションの計算ピッチを記載する。

上位クラス：

---

抽象／具象区分：

---

属性

---

#### 破堤箇所 [0..1] : **破堤箇所**

洪水発生要因が外水の場合に、破堤箇所の情報を定義する。洪水発生要因が内水の場合には記載されない。

#### 経過時間 [1] : **経過時間**

シミュレーションの設定条件のうち、任意の始点からいつの時点の浸水区域であるかという条件を記載する。

#### 備考 [0..1] : **CharacterString**

他の特記すべき設定条件や留意事項がある際に記載する。

関連役割

---

## 浸水想定区域メッシュパッケージ (FloodInundationHazardAreaMeshDataPackage)

### 定義

---

浸水想定区域のメッシュデータの設定条件や浸水想定区域内の浸水や流速、および家屋浸水被害や人的被害や地下鉄浸水被害や、浸水による資産被害額を、浸水想定区域データとして定義したパッケージ。

破堤箇所クラスや、経過時間クラス、最大包絡設定条件クラス、個別設定条件クラスは浸水想定区域データパッケージを参照する。

### 対象地物

---

経過時間、破堤箇所、浸水想定区域メッシュ、浸水想定区域データ

### 注意事項

---

## 浸水想定区域メッシュ (FloodInundationHazardAreaMesh)

### 定義

---

浸水想定区域クラスや設定の条件等を記載した設定条件クラスの各種前提事項に対応する浸水エリアをメッシュデータとして定義するクラス。

上位クラス : ISO19123CV\_DiscreteGridCoverage

---

抽象/具象区分 : 抽象地物

---

### 属性

---

**被害想定調査名称 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**河川 [1] : 河川コード**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**告示番号 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**洪水規模 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**指定の前提となる降雨に関する情報 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**周知すべき留意事項 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**洪水予報河川 [0..1] : boolean**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**水位情報周知河川 [0..1] : boolean**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**対象区間 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**管理主体 [1] : 管理種別**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**洪水発生要因 [1] : 洪水発生要因**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**最大包絡設定条件 [0..\*] : 最大包絡条件**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**個別の設定条件 [0..1] : 個別設定条件**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**上位メッシュコード [1] : CharacterString**

評価に用いたメッシュの一つ上位のメッシュコード。

浸水エリアや浸水エリア内の状況等を 3 次メッシュで評価した場合には当該 3 次メッシュを含む 2 次メッシュコードを取得する。複数ある場合は全て記載する。

原則として、JISX0410 の地域メッシュコードに準ずる。

## 備考 [0..1] : CharacterString

評価に用いるメッシュコードの付番やメッシュ区画が独自に設定した場合はそのメッシュの1辺の長さや付番ルールについて記載する。

また、床上浸水・床下浸水の評価基準は治水経済調査マニュアル等を参照すると浸水0.5mを基準とするが、基準が異なる場合には、浸水想定区域メッシュクラスの備考に評価基準等を記載することが望ましい。

さらに、死者数・孤立者数の評価手法についても、ガイドライン等で規定されているものではないため、参考にした文献の情報（URL、文献名）を浸水想定区域メッシュクラスの備考に記載することが望ましい。

なお、浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラスの同名の属性同様に、排水施設や水門操作等の稼動条件など、浸水想定区域を設定する際の他のシミュレーション条件等があれば記載する。

## 浸水想定区域データ (InundationHazardAreaMeshData)

属性名	データ型	定義
メッシュコード [1]	CharacterString	評価に用いたメッシュコード。メッシュコードは原則として、JISX0410 地域メッシュコードに準ずる
浸水深 [0..1]	Real	浸水深をメートル単位で記載する
浸水深ランク [0..1]	浸水深ランク	浸水深に応じて段階的な指標値で示したもの
平均流速 [0..1]	Real	平均流速 をメートル毎秒で記載
最大流速 [0..1]	Real	最大流速 をメートル毎秒で記載
流速ランク [0..1]	流速ランク	平均流速に応じて段階的な指標値で示したもの
歩行困難フラグ [0..1]	歩行困難種別	浸水深と流速の関係から歩行が困難か否かの評価の別を示したもの。※
家屋の倒壊・流出の危険性 [0..1]	家屋の倒壊流出危険種別	氾濫のエネルギーから家屋の倒壊や流出の危険性があるか否かの評価の別を示したもの。
床上浸水家屋数 [0..1]	Real	床上浸水した家屋が何棟あるかを示す。
床下浸水家屋数 [0..1]	Real	床下浸水した家屋が何棟あるかを示す。
死者数 [0..1]	Real	死者数の評価をした場合、想定される死者数を示す。
孤立者数 [0..1]	Real	孤立者が発生すると評価された

属性名	データ型	定義
		場合の想定される孤立者人数を示す。
浸水継続時間 [0..1]	CharacterString	浸水の継続時間を記載。

※メッシュデータを作成する際には、上記全ての属性が記載されなければならないわけではない（メッシュコードのみ必須）。被害想定を行った項目のみの属性が記載されることとなる。

※死者数や孤立者数のデータ型を Real（実数）とするのは、評価の際の計算結果として死者数や孤立者数をメッシュ毎に算出することが想定されるため、メッシュ毎の評価値を整数に丸めて記載することが望ましくない場合も考えられる。そのため実数とした。（なお、実績氾濫区域における死者数・孤立者数については、過去の実際の被害の値であるため整数とした）

※流出の危険性の有無については、ガイドライン等で定められた指標はないため、既往の研究等を参考に危険性の有無の評価を行い、それに基づき、危険性の有無を評価結果として記載する。

※参考：歩行困難度（避難の可能性）の指標

流速	浸水深	評価
0.5m/s 未満	1.0m 未満	歩行可能（避難可能）
	1.0m 以上	歩行困難（安全な避難は困難）
0.5m/s 以上 1.5m/s 未満	0.5m 未満	歩行可能（避難可能）
	0.5m 以上	歩行困難（安全な避難は困難）
1.5 m/s 以上	-	歩行困難（安全な避難は困難）

参考：洪水ハザードマップ作成要領解説と運用改訂版 平成 12 年 9 月 国土交通省 河川局治水課

関連役割

---

## 浸水想定区域被害額メッシュパッケージ (TheDamageMeshDataOfInundationHazardArea MeshDataPackage)

### 定義

治水経済調査マニュアルで算出方法が定義されている直接被害に関する被害額に関するメッシュデータを定義するパッケージ。被害額は最大包絡の浸水想定区域を対象に算出される。破堤箇所クラス、最大包絡設定条件クラスは浸水想定区域データパッケージを参照する。

### 対象地物

浸水想定被害額メッシュ、浸水想定被害額データ

### 注意事項

## 想定被害額メッシュ (TheDamageMeshDataOfInundationHazardArea)

### 定義

浸水想定区域における各種被害額を。

浸水想定区域クラスや他の設定の条件等を記載したクラスの各種前提事項に対応する想定被害額をメッシュデータとして定義するクラス。

被害額メッシュは複数のシミュレーション結果の最大包絡の浸水想定区域に対して算出される。

上位クラス：ISO19123CV\_DiscreteGridCoverage、破堤箇所

抽象／具象区分：抽象地物

### 属性

**被害想定調査名称 [1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**河川 [1] : 河川コード**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**告示番号 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。



**洪水規模 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**指定の前提となる降雨に関する情報 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**周知すべき留意事項 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**洪水予報河川[0..1] : boolean**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**水位情報周知河川[0..1] : boolean**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**対象区間 [0..1] : CharacterString**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**管理主体 [1] : 管理種別**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**洪水発生要因 [1] : 洪水発生要因**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**最大包絡設定条件 [0..\*] : 最大包絡条件**

浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラス参照。

**上位メッシュコード [1] : CharacterString**

浸水想定区域メッシュパッケージの浸水想定区域メッシュクラス参照。

**デフレータ発行年月日 [1] : CharacterString**

被害額を評価した際に用いた「各種資産評価単価及びデフレータ」の発行年月をを記載する。

**備考 [0..1] : CharacterString**

評価に用いるメッシュコードの付番やメッシュ区画が独自に設定した場合はそのメッシュの1辺の長さや付番ルールについて記載する。

なお、浸水想定区域データパッケージの浸水想定区域クラスの同名の属性同様に、排水施設や水門操作等の稼動条件など、浸水想定区域を設定する際の他のシミュレーション条件等があれば記載する。

#### 浸水想定区域被害額データ (ForecastTheDamageAreaMeshOfInundationData)

属性名	データ型	定義
メッシュコード [1]	CharacterString	評価に用いたメッシュコード。メッシュコードは原則として、JISX0410 地域メッシュコードに準ずる
家屋資産被害額 [0..1]	Real	家屋資産被害評価額を記載する。評価手法は原則として治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
家庭用品被害額 [0..1]	Real	家庭用品被害額を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
事業所償却資産被害額 [0..1]	Real	事業所償却資産被害額を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
事業所在庫資産被害額 [0..1]	Real	事業所在庫資産被害額を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
農漁家償却資産被害額 [0..1]	Real	農漁家償却資産被害額を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
農漁家在庫資産被害額 [0..1]	Real	農漁家在庫資産被害額を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
農作物被害額 [0..1]	Real	農作物被害額を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
公共土木施設被害額(全体) [0..1]	Real	公共土木施設被害額の各種別の総計を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
公共土木施設被害額(道路) [0..1]	Real	公共土木施設被害額(道路)を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
公共土木施設被害額(橋梁) [0..1]	Real	公共土木施設被害額(橋梁)を記載

属性名	データ型	定義
		する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
公共土木施設被害額(下水道) [0..1]	Real	公共土木施設被害額(下水道)を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
公共土木施設被害額(都市施設) [0..1]	Real	公共土木施設被害額(都市施設)を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
公共土木施設被害額(公益施設) [0..1]	Real	公共土木施設被害額(公益施設)を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
公共土木施設被害額(農用地) [0..1]	Real	公共土木施設被害額(農用地)を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。
公共土木施設被害額(農業施設) [0..1]	Real	公共土木施設被害額(農業施設)を記載する。評価手法は原則として、治水経済調査マニュアルに準ずることとする。

※メッシュデータを作成する際には、上記全ての属性が記載されなければならないわけではない（メッシュコードのみ必須）。被害想定を行った項目のみの属性が記載されることとなる。

関連役割

---

## 浸水想定エリアパッケージ (InundationHazardAreaSurfaceDataPackage)

### 定義

浸水想定区域の各種設定条件に基づく浸水範囲や浸水深ランク、流速ランク、浸水継続時間等に応じた浸水範囲などのエリアデータを定義するパッケージ。

浸水想定区域クラス、破堤箇所クラス、経過時間クラス、最大包絡設定条件クラス、個別設定条件クラスは浸水想定区域データパッケージを参照する。

### 対象地物

浸水想定エリア、浸水エリア、浸水深ランク別エリア、流速ランク別エリア、浸水継続時間別エリア

### 注意事項

## 浸水想定区域エリア (InundationHazardAreaSurface)

### 定義

各種条件に基づく浸水想定区域の浸水範囲や浸水深ランク、流速ランク、浸水継続時間等に応じた浸水範囲などのエリアデータを定義するクラス。

上位クラス：浸水想定区域

抽象／具象区分：抽象地物

### 属性

**範囲 [1] : GM\_Surface**

エリアの範囲

### 関連役割

## 浸水エリア (InundationAreaSurface)

### 定義

浸水想定区域クラス等で定義される浸水想定区域に対応する、浸水範囲を定義するクラス。

上位クラス：浸水想定エリア

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

**浸水エリア名 [0..1] : CharacterString**

浸水エリアの俗称や地域名称など任意の名前を記載する。

関連役割

---

**浸水深ランク別エリア (FloodWaterDepthLevelAreaSurface)**

定義

---

浸水想定区域クラス等で定義される浸水想定区域に対応する、浸水深ランク毎の浸水範囲を定義するクラス。

上位クラス：浸水想定エリア

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

**浸水深ランク [1] : 浸水深ランク**

浸水深に応じて段階的な指標値で示したもの。当該エリアの浸水ランクをコードから選択。

関連役割

---

**流速ランク別エリア (FlowVelocityLevelAreaSurface)**

定義

---

浸水想定区域クラス等で定義される浸水想定区域に対応する、流速ランク毎の浸水範囲を定義するクラス。

上位クラス：浸水想定エリア

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

**流速ランク [1] : 流速ランク**

流速に応じて段階的な指標値で示したものの。当該エリアの流速ランクをコードから選択。

関連役割

---

**浸水継続時間別エリア (InundationDurationAreaSurface)**

定義

---

浸水想定区域クラス等で定義される浸水想定区域に対応する、浸水継続時間毎の浸水範囲を定義するクラス。

上位クラス：浸水想定エリア

---

抽象／具象区分：具象地物

---

属性

---

**浸水継続時間 [1] : CharacterString**

浸水状態の継続時間を示す。単位は時間とする。

関連役割

---

**浸水想定コンターパッケージ (InundationHazardConterminousDataPackage)**

定義

---

浸水想定区域の各種設定条件に基づく浸水深、流速、浸水継続時間等の等値線を定義するパッケージ。

対象地物

---

浸水想定コンター、浸水深コンター、流速コンター、浸水継続時間コンター

注意事項

---

## 浸水想定コンター (InundationHazardConterminousLine)

### 定義

浸水想定区域等のクラスで定義された条件に基づくコンターデータの範囲を定義するクラス。

上位クラス：浸水想定区域

抽象／具象区分： 抽象地物

### 属性

**場所 [1] : GM\_Curve**

コンターラインの場所を示す。

## 浸水深コンター (FloodWaterDepthConterminousLine)

### 定義

浸水想定区域等のクラスで定義された条件に基づく浸水想定区域における同じ浸水深の値を結んだコンターラインデータを定義するクラス。

上位クラス：浸水想定コンター

抽象／具象区分： 具象地物

### 属性

**浸水深 [1] : Real**

コンターラインの基準となる浸水深をメートル単位で記載する。

## 流速コンター (FlowVelocityConterminousLine)

### 定義

浸水想定区域等のクラスで定義された条件に基づく浸水想定区域における同じ流速の値を結んだコンターラインデータを定義するクラス。

上位クラス：浸水想定コンター

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

**流速 [1] : Real**

コンターラインの基準となる流速をメートル毎秒単位で記載する。

**浸水継続時間コンター (InundationDurationConterminousLine)**

定義

---

浸水想定区域等のクラスで定義された条件に基づく浸水想定区域における同じ浸水継続時間の値を結んだコンターラインデータを定義するクラス。

上位クラス：浸水想定コンター

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

**浸水継続時間 [1] : CharacterString**

浸水想定エリアパッケージの浸水継続時間別エリアクラス参照。(0)

関連役割

---

**地下鉄浸水被害パッケージ (SubwayInundationHazardDataPackage)**

定義

---

浸水想定区域の各種設定条件に基づく地下鉄の浸水被害想定を定義するパッケージ。

対象地物

---

地下鉄浸水被害

注意事項

---

**地下鉄浸水被害 (SubwayInundationHazard)**

定義

---

設定された浸水想定区域の条件下で発生する地下鉄浸水被害状況を定義するクラ



ス。

上位クラス：浸水想定区域

---

抽象／具象区分：具象地物

---

属性

---

**場所 [1] : GM\_Curve**

被害のある地下鉄の対象路線の場所を示す。

**対象路線名 [1] : CharacterString**

対象となる路線名。

**浸水状況 [1] : 地下鉄浸水状況種別**

浸水状況をコードから選択。

**対象施設の条件 [0..1] : CharacterString**

地下鉄の駅や付帯施設における条件（止水板の高さ、坑口部の状況等）を記載。

**備考 [0..1] : CharacterString**

その他の留意事項を記載。

関連役割

---

## 浸水実績区域データパッケージ (InundationExperienceAreaDataPackage)

### 定義

過去に発生した、浸水実績区域や浸水実績区域内の浸水被害の実績等を定義したパッケージ。

### 対象地物

浸水実績区域、浸水実績区域メッシュ、浸水実績被害データ、浸水実績エリア、浸水エリア、浸水深ランク別エリア、浸水継続時間別エリア、浸水実績区域コンター、浸水深コンター、浸水継続時間コンター

### 注意事項

## 浸水実績区域 (InundationExperienceInundationAreaMesh)

### 定義

過去の浸水実績の洪水名称や浸水発生年月日等の諸元的情報を定義するクラス。

上位クラス：

抽象／具象区分： 抽象地物

### 属性

#### 河川 [1] : 河川コード

過去に浸水が発生した浸水実績区域の対象河川の河川コードを記載する。複数ある場合は全て記載する。

河川コードは国土交通省河川局による河川コード仕様書で規定される個別の河川を一意に特定するために付与された 10 桁の番号。

#### 洪水名 [0..1] : **CharacterString**

通称などの洪水名があれば記載する。

#### 出水年月日 [0..1] : **TM\_Instant**

出水の発生年月日。

**出水要因 [0..1] : 洪水発生要因**

洪水の要因が外水のみによるものか、内水のみによるものか、双方によるものかを識別する。

**降雨状況 [0..1] : CharacterString**

洪水が発生した際の降雨状況について、総雨量、1時間最大雨量、1時間未満の短時間最大雨量、生起年月日、観測場所等を記載する

**備考 [0..1] : CharacterString**

その他留意する事項や発生状況等について記載。

関連役割

---

**浸水実績区域メッシュパッケージ (InundationExperienceAreaMeshDataPackage)**

定義

過去の浸水実績区域のメッシュデータを定義するためのパッケージ。浸水実績クラスは浸水実績区域データパッケージを参照する。

対象地物

浸水実績区域メッシュ、浸水実績被害データ

注意事項

---

**浸水実績区域メッシュ (InundationExperienceInundationAreaMesh)**

定義

浸水実績区域の諸元情報および浸水実績区域の被害範囲等のメッシュデータを定義するクラス。

上位クラス : ISO19123CV\_DiscreteGridCoverage

---

抽象/具象区分 : 抽象地物

---

属性

---

**河川 [1] : 河川コード**

過去に浸水が発生した浸水実績区域の対象河川の河川コードを記載する。複数ある場合は全て記載する。

河川コードは国土交通省河川局による河川コード仕様書で規定される個別の河川を一意に特定するために付与された 10 桁の番号。

**洪水名 [0..1] : CharacterString**

通称などの洪水名があれば記載する。

**出水年月日 [0..1] : TM\_Instant**

出水の発生年月日。

**出水要因 [0..1] : 洪水発生要因**

洪水の要因が外水のみによるものか、内水のみによるものか、双方によるものかを識別する。

**降雨状況 [0..1] : CharacterString**

洪水が発生した際の降雨状況について、総雨量、1 時間最大雨量、1 時間未満の短時間最大雨量、生起年月日、観測場所等を記載する

**上位メッシュコード [1] : CharacterString**

評価に用いたメッシュの一つ上位のメッシュコード。

浸水エリアや浸水エリア内の状況等を 3 次メッシュで評価した場合には当該 3 次メッシュを含む 2 次メッシュコードを取得する。複数ある場合は全て記載する。

原則として、JISX0410 の地域メッシュコードに準ずる。

**備考 [0..1] : CharacterString**

評価に用いるメッシュコードの付番やメッシュ区画が独自に設定した場合はそのメッシュの 1 辺の長さや付番ルールについて記載する。

**浸水実績被害データ (InundationExperienceAreaData)**

属性名	データ型	定義
メッシュコード [1]	CharacterString	評価に用いたメッシュコード。メッシュコードは原則として、JISX0410 地域メッシュコードに準ずる

属性名	データ型	定義
浸水深 [0..1]	Real	浸水深をメートル単位で記載する
浸水深ランク [0..1]	浸水深ランク	浸水深に応じて段階的な指標値で示したもの
最大流速 [0..1]	Real	流速が観測されていれば、最大流速をメートル毎秒単位で記載。
平均流速 [0..1]	Real	流速が観測されていれば、平均流速をメートル毎秒単位で記載。
浸水継続時間 [0..1]	CharacterString	浸水継続時間を記載。
床下浸水家屋数 [0..1]	Integer	床下浸水被害があった家屋の棟数を記載。
床上浸水家屋数 [0..1]	Integer	床上浸水被害があった家屋の棟数を記載。
死者数 [0..1]	Integer	実際に発生した死者数を記載。
孤立者数 [0..1]	Integer	実際に発生した孤立者数を記載。

※メッシュデータを作成する際には、上記全ての属性が記載されなければならないわけではない（メッシュコードのみ必須）。被害想定を行った項目のみの属性が記載されることとなる。

#### 関連役割

---

### 浸水実績区域エリアパッケージ (InundationExperienceDamageAreaSurfaceDataPackage)

#### 定義

過去に発生した、浸水実績区域や浸水実績区域内の浸水被害の実績に基づく各種浸水エリアを定義したパッケージ。

#### 対象地物

浸水実績エリア、浸水エリア、浸水深ランク別エリア、浸水継続時間別エリア

#### 注意事項

---

### 浸水実績エリア (InundationExperienceDamageAreaSurface)

#### 定義

浸水実績区域クラスで定義された条件に基づくエリアデータの範囲を定義するクラス。

上位クラス：浸水実績区域

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

**範囲 [1] : GM\_Surface**

実際に発生した浸水エリアの範囲を示す。

関連役割

---

**浸水エリア (InundationExperienceDamageArea)**

定義

---

浸水実績クラスで定義される浸水実績区域に対応する、浸水範囲を定義するクラス。

上位クラス：浸水実績エリア

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

**浸水エリア名 [0..1] : CharacterString**

浸水エリアの俗称や地域名称など任意の名前を記載する。

関連役割

---

**浸水深ランク別エリア (FloodWaterDepthLevelInundationExperienceDamageAreaSurface)**

定義

---

浸水実績クラスで定義される浸水実績区域に対応する、浸水深ランク毎の浸水範囲を定義するクラス。

上位クラス：浸水実績エリア

---

抽象／具象区分： 具象地物

---

属性

---

## 浸水深ランク [1] : 浸水深ランク

浸水想定区域エリアパッケージの浸水深ランク別エリアクラス参照。

関連役割

---

## 浸水継続時間別エリア (InundationDurationExperienceDamageAreaSurface)

定義

浸水実績クラスで定義される浸水実績区域に対応する、浸水継続時間毎の浸水範囲を定義するクラス。

上位クラス：浸水実績エリア

---

抽象／具象区分：具象地物

---

属性

## 浸水継続時間 [1] : CharacterString

浸水想定エリアパッケージの浸水継続時間別エリアクラス参照。

関連役割

---

## 浸水実績区域コンターパッケージ (InundationExperienceConterminousLineDataPackage)

定義

過去に発生した、浸水実績区域や浸水実績区域内の浸水被害の実績に基づく浸水深や浸水継続時間等の等値線を定義したパッケージ。

対象地物

浸水実績区域コンター、浸水深コンター、浸水継続時間コンター

注意事項

---

## 浸水実績コンター (InundationExperienceConterminousLine)

定義

---

浸水実績区域被害クラスで定義された条件に基づくコンターデータの位置を定義するクラス。

上位クラス：浸水実績区域

---

抽象／具象区分：具象地物

---

属性

---

**場所 [1] : GM\_Curve**

等値線の場所、区間を表す。

関連役割

---

**浸水深コンター (FloodWaterDepthConterminousLine)**

定義

---

浸水実績区域クラスで定義された条件に基づく浸水実績区域における同じ浸水深の値を結んだコンターラインデータを定義するクラス。

上位クラス：浸水想定コンター

---

抽象／具象区分：具象地物

---

属性

---

**浸水深[1] : Real**

浸水想定コンターパッケージの浸水深コンタークラス参照。

**浸水継続時間コンター (InundationDurationConterminousLine)**

定義

---

浸水実績区域クラスで定義された条件に基づく浸水実績区域における同じ浸水継続時間の値を結んだコンターラインデータを定義するクラス。

上位クラス：浸水想定コンター

---

抽象／具象区分：具象地物

---



属性

---

**浸水継続時間[1] : CharacterString**

浸水想定コンターパッケージの浸水継続時間コンタークラス参照。

関連役割

---

## 避難時危険箇所データパッケージ (DangerousPlaceForEvacuationBehaviorDataPackage)

定義

---

洪水災害時に住民が避難行動を取る際に危険が及ぶことが想定される箇所を示す。土石流危険区域や急傾斜地崩壊危険区域等の土砂災害警戒危険区域、過去の出水で通行止めになった道路のほか、浸水時に水深が大きくなることが予想されるアンダーパスや側溝等が危険箇所として考えられる。（「洪水ハザードマップ作成の手引き」より引用）

土砂災害に関連する危険箇所については「土砂災害データ仕様」の定義に従って整備する。

対象地物

---

避難時危険箇所ポイント、避難時危険箇所ライン

注意事項

---

土砂災害に関連する危険箇所については「土砂災害データ仕様」の定義に従って整備する。

## 避難時危険箇所ポイント (DangerousPlaceForEvacuationBehavior)

定義

---

洪水時の避難時に危険と思われる地点をポイントデータとして定義するクラス。

上位クラス :

---

抽象／具象区分 : 具象地物

---

属性

---

**場所 [1] : GM\_Point**

危険箇所の地点。

**危険箇所種別 [1] : 危険箇所種別**

危険箇所の種別をコードから選択。

**都道府県 [1] : 都道府県コード**

対象の危険箇所が存在する都道府県を都道府県コードから選択

**市区町村 [1] : 市区町村コード**

対象の危険箇所が存在する市町村を市区町村コードから選択

関連役割

---

**避難時危険箇所ライン(DangerousBoundForEvacuationBehavior)**

定義

洪水時の避難時に危険と思われる場所をラインデータとして定義するクラス。  
開水路や側溝などの線的な情報として定義する際に利用する。

上位クラス :

---

抽象/具象区分 : 具象地物

---

属性

**場所 [1] : GM\_Curve**

危険箇所の範囲。

**危険箇所種別 [1] : 危険箇所種別**

危険箇所の種別をコードから選択。

**都道府県 [1] : 都道府県コード**

対象の危険箇所が存在する都道府県を都道府県コードから選択

**市区町村 [1] : 市区町村コード**

対象の危険箇所が存在する市町村を市区町村コードから選択

関連役割

---

## 避難所データパッケージ (RefugeDataPackage)

### 定義

災害時の避難場所として、市区町村ごとに設定されている避難所のデータを定義するパッケージ。

### 対象地物

避難所

### 注意事項

## 避難所 (Refuge)

### 定義

災害時の避難場所として、市区町村ごとに設定されている避難所のデータを定義するクラス。

属性項目等は、「閣副安危第 464 号平成 17 年 11 月避難施設データベースの整備について (通知)」(以下「安危 464 号 (通知)」と示す) を参考に設定を行った。

※下記属性の「\*」印のついている属性項目が「安危 464 号 (通知)」にて避難施設データベースに盛り込むべき標準項目に対応する項目。

上位クラス：

抽象/具象区分： 具象地物

### 属性

**場所 [1] : GM\_Point**

避難所の地点。

**\*都道府県コード [1] : 都道府県コード**

当該避難所がある都道府県を都道府県コードリストから取得。

**市区町村コード [1] : 市区町村コード**

当該避難所がある市区町村を市区町村コードリストから取得。

**広域避難場所 [0..1] : boolean**

当該の避難所が、広域避難場所<sup>\*</sup>に設定されているか否かを識別。

※広域避難場所：災害発生で大規模な避難を要する場合、それに適した広さなどの十分な条件を有す公園や学校などの地域を指す。各自治体がそれらを広域避難場所として指定している。

**一時避難場所 [0..1] : boolean**

当該の避難所が、一時避難場所<sup>\*</sup>に設定されているか否かを識別。

※一時避難場所：一時的に避難できる広場、公園、空地など。災害の状況を見る場合にも利用する。主に近隣の地域が割り当てられる。こちらはある基準を元に町内会や自主防災組織が指定する。

**収容避難場所 [0..1] : boolean**

当該の避難所が、収容避難場所<sup>\*</sup>に設定されているか否かを識別。

※収容避難場所：自然災害等により住居等を失うなど、継続して救助を必要とする市民に対し、宿泊、給食等の生活機能を提供できる学校などをいう。各自治体が指定する。

**二次避難所 [0..1] : boolean**

二次的避難所と呼ばれる場合もある。当該の避難所が、二次避難所<sup>\*</sup>に設定されているか否かを識別。

※学校などの避難所に比べ、より介護がしやすい環境を持つ施設。

**\*整理番号[1] : Integer**

整理番号（都道府県毎の施設毎に一意となる番号。特別区、政令指定都市の場合には、別途一意の番号を付する）

**\*施設名称 [1] : CharacterString**

避難所の施設の正式名称を全角文字で入力。

記入例：「××市立●●小学校」「××県立●●会館」「財団法人●●センター」等

**\*施設所在地（郵便番号） [1] : CharacterString**

7桁の郵便番号を半角数字で記載する。「-」（ハイフン）等は記載しない。

例：「0123456」

**\*施設所在地（市区町村名） [1] : CharacterString**

施設所在地の市区町村名を全角文字で記載する。

**\*施設所在地（町丁目名・番（番地）・号） [1] : CharacterString**

施設所在地の町丁目・番（番地）・号を全角文字で入力する。数字も全角で入力する。

例：千代田区永田町1丁目6番1号

**\*施設連絡先（電話） [1] : CharacterString**

施設の連絡先電話番号を半角数字で記載する。「-」（ハイフン）等は記載しない。

例：「0312345678」

**\*施設連絡先（FAX） [1] : CharacterString**

施設の連絡先 FAX 番号を半角数字で記載する。「-」（ハイフン）等は記載しない。

例：「0312345678」

**\*施設管理者名 [1] : CharacterString**

施設の管理者名を全角文字で記載する。

施設の管理者は事実上の管理権を有している者全般を想定している。例えば、公立の大学にあつては設置者である地方公共団体の長、大学以外の公立学校にあつては設置者である地方公共団体に設置されている教育委員会となる。基本的には防災基本計画における避難所・避難場所の対応と同様になる。

例：●●市教育委員会

**\*管理担当窓口 [1] : CharacterString**

施設の管理窓口（担当部署）の名称を全角文字で記載する。

例：生涯学習課

**\*管理担当窓口（電話） [1] : CharacterString**

施設の管理担当窓口の電話番号を半角数字で記載する。「-」（ハイフン）等は記載しない。

例：「0312345678」

**\*管理担当窓口 (FAX) [1] : CharacterString**

施設の管理担当窓口の FAX 番号を半角数字で記載する。「-」(ハイフン)等は記載しない。

例:「0312345678」

**\*収用人数 (屋内) [0..1] : Real**

基本的に、一人当たりの専有面積を 2 平方メートルとして、収容人数を計算するものとする。

**\*収用人数 (屋外) [0..1] : Real**

基本的に、一人当たりの専有面積を 2 平方メートルとして、収容人数を計算するものとする。

**\*避難施設面積 (屋内部分) [0..1] : Real**

避難施設の面積のうち、収用人員に供する述べ床面積を半角数字で記載する。単位は平方メートルとする。

**\*避難施設面積 (屋外部分) [0..1] : Real**

避難施設の面積のうち、収用人員に供する敷地面積を半角数字で記載する。単位は平方メートルとする。

**\*避難施設面積 (屋内部分) 未確定フラグ [0..1] : Real**

避難施設面積の屋内部分が未確定の場合半角数字で「1」を記載する。

**\*避難施設面積 (屋外部分) 未確定フラグ [0..1] : Real**

避難施設面積の屋外部分が未確定の場合半角数字で「1」を記載する。

**\*保有設備 (トイレ) [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

**\*保有設備 (入浴・シャワー) [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

**\*保有設備 (給食設備) [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

**\*保有設備（冷暖房設備） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

**\*保有設備（障害者用トイレ） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

**\*保有設備（エレベーター） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

**\*保有設備（スロープ） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

**\*施設構造 [0..1] : 施設構造**

施設の構造がコンクリート造り（鉄筋コンクリート造：RC，鉄骨鉄筋コンクリート造：SRCを含む）ならば半角数字で「1」を入力し、それ以外(木造、鉄骨造、構造不明の場合も)なら「2」を入力する。対象の避難所が屋外の場合は「0」をコードリストの施設構造より選択する。

**\*施設の地上階数 [0..1] : Integer**

施設の地上階数を半角数字で記載する。

**\*施設の地下階数 [0..1] : Integer**

施設の地下階数を半角数字で記載する。

**\*災害対策基本法上の避難所としての指定 [0..1] : boolean**

対象避難所が災害対策のための避難所・避難場所として指定されている場合には半角数字で「1」を記載する。

**水害時避難所 [0..1] : boolean**

対象避難所が水害時の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

**震災時避難所[0..1] : boolean**

対象避難所が震災時の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

**土砂災害時避難所 [0..1] : boolean**

対象避難所が土砂災害時の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

**津波時避難所 [0..1] : boolean**

対象避難所が津波被害の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

**その他の災害時の避難所 [0..1] : boolean**

対象避難所が水害・震災・土砂・津波以外の災害等の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

**\*非常用電源の有無 [0..1] : boolean**

非常用電源がある場合には、半角数字で「1」を記載する。

**\*大型車両のアクセスの可否 [0..1] : boolean**

大型車両のアクセスが可能な場合には、半角数字で「1」を記載する。

**\*備考 [0..1] : CharacterString**

その他の注記事項として、施設の特徴等を特に記述すべき情報がある場合に記載。

例：NTT回線以外の通信設備あり、ヘリコプター離発着可能、除雪機あり、等々



## コードリスト (CodeList)

### 河川コード (RiverCode)

#### 定義

河川を識別するためのコード。

#### コードリスト値

国土交通省 河川局による河川コード

### 管理種別 (AdministratorCode)

#### 定義

河川の管理主体を識別するためのコード

#### コードリスト値

- 1: 一級河川 直轄区間
- 2: 一級河川 指定区間
- 3: 二級河川
- 4: 管理区分統合

### 左右岸フラグ (BankSideCode)

#### 定義

河川の管理主体を識別するためのコード

#### コードリスト値

- 1: 左岸
- 2: 右岸

### 洪水発生要因 (InundationEstimationFactorCode)

#### 定義

浸水要因を識別するためのコード

#### コードリスト値

- 1: 外水による洪水
- 2: 内水による洪水

### 3: 双方を考慮

#### 浸水深ランク (WaterDepthLevelCode)

##### 定義

浸水深に応じた浸水ランクの指標値。

- 浸水の有無のみを示している場合は (0 と 1 のみを用いる)
- 外水が要因の浸水については (11・12・13・14・15) と用いる
- 内水が要因の浸水については (21・22・11・12・13・14・15) を用いる
- 浸水深のランクを被害対象によって識別する場合には 31 や 32 や 33 を用いる

##### コードリスト値

- 0: 浸水無し
- 1: 浸水有り
- 11: 0.5m 未満
- 12: 0.5m 以上 1.0m 未満
- 13: 1.0m 以上 2.0m 未満
- 14: 2.0m 以上 5.0m 未満
- 15: 5.0m 以上
- 21: 0.2m 未満
- 22: 0.2m 以上 0.5m 未満
- 31: 道路冠水
- 32: 床下浸水
- 33: 床上浸水

※「洪水ハザードマップ作成の手引き」(H17.6 国土交通省河川局 治水課)  
「内水ハザードマップ作成の手引き」(H20.12 国土交通省都市・地域整備局下  
水道部)  
「浸水想定区域図作成マニュアル」(H17.6 国土交通省河川局 治水課)  
を参考に区分

#### 歩行困難種別 (EvacuationDifficultyCode)

##### 定義

浸水深と流速から評価される。歩行による避難が可能な区域か否かを識別する。

##### コードリスト値

1: 歩行困難区域

2: 歩行可能区域

※参考：歩行困難度（避難の可能性）の指標

流速	浸水深	評価
0.5m/s 未満	1.0m 未満	歩行可能（避難可能）
	1.0m 以上	歩行困難（安全な避難は困難）
0.5m/s 以上 1.5m/s 未満	0.5m 未満	歩行可能（避難可能）
	0.5m 以上	歩行困難（安全な避難は困難）
1.5 m/s 以上	-	歩行困難（安全な避難は困難）

参考：洪水ハザードマップ作成要領解説と運用改訂版 平成 12 年 9 月 国土交通省 河川局治水課

#### 流速ランク (FlowVelocityLevelCode)

定義

流速の値に応じたランクを識別する。

コードリスト値

1: 0.5m/s 未満

2: 0.5m/s 以上 1.5m/s 未満

3: 1.5m/s 以上

参考：洪水ハザードマップ作成要領解説と運用改訂版 平成 12 年 9 月 国土交通省 河川局治水課

#### 地下鉄浸水状況種別 (SubwayInundationLevelCode)

定義

地下鉄の浸水状況を識別する。

コードリスト値

0: 浸水なし

1: 浸水 5cm 以上 2.0m 未満

2: 浸水 2.0m 以上満管未満

3: 満管

## 危険箇所種別 (DangerousKindCode)

### 定義

危険箇所の種類を識別する。

### コードリスト値

- 0: 識別無し
- 1: 過去の出水で通行止めになった道路
- 2: 開水路
- 3: 側溝
- 4: 橋梁
- 5: 過去のがけ崩れ地すべり発生箇所

参考:「洪水ハザードマップ作成の手引き」(H17.6 国土交通省河川局 治水課)  
「内水ハザードマップ作成の手引き」(H20.12 国土交通省都市・地域整備局下  
水道部)を参考に区分

※「0:種別なし」は危険箇所種別の内訳は区分せず、危険箇所という識別のみ  
する場合等に利用する

## 施設構造 (DangerousKindCode)

### 定義

避難所の構造の種類を識別する。

### コードリスト値

- 0: 屋外施設
- 1: コンクリート構造
- 2: その他

※コンクリート構造には鉄筋コンクリート造:RC, 鉄骨鉄筋コンクリート造:  
SRCを含む

※その他には、木造や鉄筋造等のコンクリート以外の構造および構造不明の場合  
を含む。

(「閣副安危第464号平成17年11月避難施設データベースの整備について  
(通知)」より)

## 5. 参照系

---

### 5.1. 空間参照系

---

参照系識別子： JGD2000/ (B,L)

※世界測地系による定義を原則とするが、既存データの活用等により日本測地系で定義する必要がある場合は、以下の参照系識別子を用いるものとする。

参照系識別子： TD/ (B,L) (日本測地系)

### 5.2. 時間参照系

---

参照系識別子： GC/JST

## 6. データ品質

---

ここでは、災害リスク情報が満たすべき最小限の品質要求および評価手法を示す。

### 論理一貫性・書式一貫性

データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式が XML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラムによって検査する。 一つ以上のエラーがある場合、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラー割合：0%

### 論理一貫性・概念一貫性

データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	XML スキーマに対するデータ集合内の矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合と XML スキーマを比較し、妥当な符号化が行われていることを、検査プログラムによって検査する。 一つ以上のエラーがある場合、“不合格”とする。
適合品質水準	XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

### 論理一貫性・定義域一貫性

データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性インスタンスの値が応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合をエラーとし、その割合（誤率）を計算する。 $\text{誤率 (\%)} = (\text{定義域外の値をもつ地物属性の数} / \text{データ集合内の地物属性の総数}) \times 100$
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 属性の値が、主題属性の定義域および地物の空間・時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。 一つ以上のエラーがある場合、“不合格”とする。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性エラーの割合：0%

## 7. データ製品配布

---

### 7.1. 配布書式情報

---

■書式名称

地理マーク付け言語 (GML)

■符号化仕様

XML スキーマは、JPGIS Ver. 2.1 附属書 12 (ISO19136) の符号化規則に従う。応用スキーマが参照する標準スキーマ (基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等) は、次の URL に掲載されている XML スキーマを使用する。

[http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO\\_19136\\_Schemas/](http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/)

XML スキーマで使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとする。

名前空間 : <http://www.cao.go.jp/schemas/mieruka/gml>

名前空間接頭辞 : cao

■文字集合

UTF-8

■言語

日本語を使用する。

■ タグ名対応表

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)

：浸水想定区域 (FloodInundationHazardAreaDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
浸水想定区域		FloodInundationHazardArea
	被害想定調査名称	projectName
	河川	riverName
	告示番号	notificationNumber
	洪水規模	floodScale
	指定の前提となる降雨に関する情報	rainfallCondirionDesignRainfall
	周知すべき留意事項	explanation
	洪水予報河川	floodForecastRiver
	水位情報周知河川	waterLevelObservationRiver
	対象区間	targetSection
	管理主体	administrator
	洪水発生要因	inundationFactor
	最大包絡の設定	maximamunInclusionCondition
	個別の設定条件	singleSimulationCondition
	備考	additionalExplanation
破堤箇所		PointOfFloodLeveeFailure
	地点	point
	破堤点名	pointOfFloodLeveeFailureName
	河口からの距離	distanceFromRiverMouth
	左右岸	rightOrLeftSideOfBank
	備考	additionalExplanation
経過時間		Duration
	経過時間の始点	beginningPointOfInundationDuration
	経過時間	duration
	備考	additionalExplanation
個別設定条件		SingleSimulationCondition
	破堤箇所	pointOfLeveeFailurePlace
	経過時間	duration



クラス名	属性・関連役割名	タグ名
	備考	additionalExplanation
最大包絡設定条件		MaximumInclusionCondition
	破堤箇所	pointOfLeveeFailurePlace
	シミュレーションピッチ	simulationInterval

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 浸水想定区域 (FloodInundationHazardAreaDataPackage)  
 : 浸水想定区域メッシュパッケージ  
 (FloodInundationHazardAreaMeshDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
浸水想定区域メッシュ		FloodInundationHazardAreaMesh
	被害想定調査名称	projectName
	河川	riverName
	告示番号	notificationNumber
	洪水規模	floodScale
	指定の前提となる降雨に関する情報	rainfallCondirionDesignRainfall
	周知すべき留意事項	explanation
	洪水予報河川	floodForecastRiver
	水位情報周知河川	waterLevelObservationRiver
	対象区間	targetSection
	管理主体	administrator
	洪水発生要因	inundationFactor
	最大包絡設定条件	maximamunInclusionCondition
	個別の設定条件	singleSimulationCondition
	上位メッシュコード	upperLevelMeshCode
	備考	additionalExplanation
浸水想定区域データ		InundationHazardAreaMeshData
	メッシュコード	meshCode
	浸水深	floodWaterDepth
	浸水深ランク	floodWaterDepthLevel
	平均流速	averageFlowVelocity

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
	最大流速	maximumFlowVelocity
	流速ランク	flowVelocityLevel
	歩行困難フラグ	evacuationDifficulty
	家屋の倒壊・流出の危険性	houseRunoffRisk
	浸水継続時間	inundationDuration
	床上浸水家屋数	inundationAboveFloorLevelHouse
	床下浸水家屋数	inundationUnderFloorLevelHouse
	死者数	deadPeople
	孤立者数	isolationPeople

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)

：浸水想定区域 (FloodInundationHazardAreaDataPackage)

：浸水想定区域被害額メッシュパッケージ

(TheDamageMeshDataOfInundationHazardAreaMeshDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
浸水想定区域被害額メッシュ		TheDamageMeshDataOfInundationHazardArea
	被害想定調査名称	projectName
	河川	riverName
	告示番号	notificationNumber
	洪水規模	floodScale
	指定の前提となる降雨に関する情報	rainfallConditionDesignRainfall
	周知すべき留意事項	explanation
	洪水予報河川	floodForecastRiver
	水位情報周知河川	waterLevelObservationRiver
	対象区間	targetSection
	管理主体	administrator
	洪水発生要因	inundationFactor
	最大包絡設定条件	maximumInclusionCondition
	上位メッシュコード	upperLevelMeshCode
	デフレーター発行年月日	publishDateOfDeflator

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
	備考	additionalExplanation
浸水想定区域被害額データ		TheDamageMeshDataOfInundation HazardArea
	メッシュコード	meshCode
	家屋資産被害額	theDamageOfHousePropertyValue
	家庭用品被害額	theDamageOfHouseholdGoodProperty Value
	事業所償却資産被害額	theDamageOfBusinessEstablishmen tRepaymentPropertyValue
	事業所在庫資産被害額	theDamageOfBusinessEstablishmen tStockPropertyValue
	農漁家償却資産被害額	theDamageOfAgricultureOrFishery RepaymentPropertyValue
	農漁家在庫資産被害額	theDamageOfAgricultureOrFishery StockPropertyValue
	農作物被害額	theDamageOfFarmProduce
	公共土木施設被害額（全体）	theDamageForAllPublicWorkFacilit y
	公共土木施設被害額（道路）	theDamageForPublicWorkFacilityA boutRoad
	公共土木施設被害額（橋梁）	theDamageForPublicWorkFacilityA boutBridge
	公共土木施設被害額（下水道）	theDamageForPublicWorkFacilityA boutDrain
	公共土木施設被害額（都市施設）	theDamageForPublicWorkFacilityA boutUrbanFacility
	公共土木施設被害額（公益施設）	theDamageForPublicWorkFacilityA boutPublicFacility
	公共土木施設被害額（農用地）	theDamageForPublicWorkFacilityA boutFarmArea
	公共土木施設被害額（農業施設）	theDamageForPublicWorkFacilityA boutFarmEquipment

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 浸水想定区域 (FloodInundationHazardAreaDataPackage)  
 : 浸水想定エリアパッケージ  
 (InundationHazardAreaSurfaceDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
浸水想定エリア		InundationHazardAreaSurface
	範囲	area
浸水エリア		InundationAreaSurface
	浸水エリア名	inundationAreaName
浸水深ランク別エリア		FloodWaterDepthLevelAreaSurface
	浸水深ランク	floodWaterDepthLevel
流速ランク別エリア		FlowVelocityLevelAreaSurface
	流速ランク	flowVelocityLevel
浸水継続時間別エリア		InundationDurationAreaSurface
	浸水継続時間	unundarionDuration

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 浸水想定区域 (FloodInundationHazardAreaDataPackage)  
 : 浸水想定コンターパッケージ  
 (InundationHazardConterminousDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
浸水想定コンター		InundationHazardConterminousLine
	場所	bound
浸水深コンター		FloodWaterDepthConterminousLine
	浸水深	floodWaterDepth
流速コンター		FlowVelocityConterminousLine
	流速	flowVelocity
浸水継続時間コンター		InundationDurationConterminousLine
	浸水継続時間	inundationDuration

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 浸水想定区域 (FloodInundationHazardAreaDataPackage)  
 : 浸水想定区域地下鉄被害パッケージ  
 (SubwayInundationHazardDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
地下鉄浸水被害		SubwayInundationHazard
	場所	bound
	対象路線名	lineName
	浸水状況	inudationCondition
	対策施設の条件	settingContitionOfStationEquipmen t
	備考	additionalExplanation

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 浸水実績区域 (InundationExperienceAreaDataPackaage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
浸水実績区域		InundationExperienceArea
	河川	riverName
	洪水名	floodName
	出水年月日	floodDate
	出水要因	outbreakFactor
	降雨状況	rainfallCondirion
	備考	additionalExplanation

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 浸水実績区域 (InundationExperienceAreaDataPackage)  
 : 浸水実績区域メッシュパッケージ  
 (InundationExperienceAreaMeshDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
浸水実績区域メッシュ		InundationExperienceAreaMesh
	河川	riverName
	洪水名	floodName
	出水年月日	floodDate
	出水要因	outbreakFactor
	降雨状況	rainfallCondirion
	上位メッシュコード	upperLevelMeshCode
	備考	additionalExplanation
浸水実績被害データ		InundationExperienceAreaData
	メッシュコード	meshCode
	浸水深	floodWaterDepth
	浸水深ランク	floodWaterDepthLevel
	平均流速	averageFlowVelocity
	最大流速	maximumFlowVelocity
	浸水継続時間	inundationDuration
	床上浸水家屋数	inundationAboveFloorLevelHouse
	床下浸水家屋数	inundationUnderFloorLevelHouse
	死者数	deadPeople
	孤立者数	isolationPeople

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 浸水実績区域 (InundationExperienceAreaDataPackage)  
 : 浸水実績区域エリアパッケージ  
 (InundationExperienceDamageAreaSurfaceDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
浸水実績エリア		InundationExperienceDamageAreaSurface
	範囲	area
浸水エリア		InundationExperienceAreaSurface
	浸水エリア名	inundationExperienceDamageAreaName
浸水深ランク別エリア		FloodWaterDepthLevelInundationExperienceDamageAreaSurface
	浸水深ランク	floodWaterDepthLevel
浸水継続時間別エリア		InundationDurationExperienceDamageAreaSurface
	浸水継続時間	inundationDuration

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 浸水実績区域 (InundationExperienceAreaDataPackage)  
 : 浸水実績コンターパッケージ  
 (InundationExperienceConterminousLineDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
浸水実績区域コンター		InundationExperienceConterminousLine
	場所	bound
浸水深コンター		FloodWaterDepthConterminousLine
	浸水深	floodWaterDepth
浸水継続時間コンター		InundationDurationConterminousLine
	浸水継続時間	duration

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 避難時危険箇所  
 (DangerousPlaceForEvacuationBehaviorDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
避難時危険箇所ポイント		DangerousPlaceForEvacuationBehavior
	場所	place
	危険箇所種別	kindOfDanger
	都道府県	prefecture
	市区町村	city
避難時危険箇所ライン		DangerousBoundForEvacuationBehavior
	場所	bound
	危険箇所種別	kindOfDanger
	都道府県	prefecture
	市区町村	city

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 避難所 (RefugeDataPackage)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
避難所		Refuge
	地点	place
	都道府県	prefecture
	市区町村コード	city
	広域避難場所	refugeArea
	一時避難場所	refugeAreaForShortTime
	収容避難場所	regufeBuilding
	二次避難所	refugeWithRichFacility
	整理番号	discriminationNumber
	施設名称	buildingName
	施設所在地 (郵便番号)	postalCodeOfBuilding
	施設所在地 (市区町村名)	addressOfBuilding
	施設所在地 (町丁目名・番	detailAddressOfBuilding



クラス名	属性・関連役割名	タグ名
	(番地)・号)	
	施設連絡先 (電話)	telephoneNumuberOfBuilding
	施設連絡先 (FAX)	facsimileNumberOfBuilding
	施設管理者名	administratorOfBuilding
	管理担当窓口	administrationCountorName
	管理担当窓口 (電話)	telephoneNumberOfAdministrationCountor
	管理担当窓口 (FAX)	facsimileNumberOfAdministrationCountor
	収容人数 (屋内)	peopleCapacityForIndoorRefuge
	収容人数 (屋外)	peopleCapacityForOutdoorRefuge
	避難施設面積 (屋内部分)	areaCapacityForIndoorRefuge
	避難施設面積 (屋外部分)	areaCapacityForOutdoorRefuge
	避難施設面積 (屋内) 未確定フラグ	indeterminationFlugOfAreaCapacityForIndoorRefuge
	避難施設面積 (屋外) 未確定フラグ	indeterminationFlugOfAreaCapacityForOutdoorRefuge
	保有設備 (トイレ)	toilet
	保有設備 (入浴・シャワー)	bathOrShower
	保有設備 (給食設備)	kitchen
	保有設備 (冷暖房設備)	airConditioner
	保有設備 (障害者用トイレ)	toiletForHandicappedPerson
	保有設備 (エレベーター)	elevator
	保有設備 (スロープ)	slope
	施設構造	buildingStructure
	施設の地上階数	numberOfGroundFloor
	施設の地下階数	numberOfUnderGroundFloor
	災害対策基本法上の避難所としての指定	specifiedByDisasterMeasuresBasicLaw
	水害時避難所	refugeForFloodDisaster
	震災時避難所	regufeForEarthquakeDisaster
	土砂災害時避難所	refugeForSedimentDisaster
	津波時避難所	refugeForTsunamiDisaster

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
	その他の災害時の避難所	refugeForOtherDisaster
	非常用電源の有無	emergencyPowerSupply
	大型車両のアクセスの可否	possibilityForHeavyVehicleAccess
	備考	additionalExplanation

パッケージ名称：洪水災害パッケージ (FloodDamageEstimationDataPackage)  
 : 洪水災害コードリスト (FloodCodeList)

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
河川コード		RiverCode
管理種別		AdministratorCode
左右岸フラグ		BankSideCode
洪水発生要因		InundationFactorCode
浸水深ランク		WaterDepthLevelCode
歩行困難種別		EvacuationDifficultyCode
流速ランク		FlowVelocityLevelCode
地下鉄浸水状況種別		SubwayInundationLevelCode
危険箇所種別		DangerousLevelCode
施設構造リスト		BuildingStructureList

## 7.2. 配布媒体情報

---

### ■単位

※データ整備単位による

### ■媒体名

オンライン

## 8. メタデータ

---

### 8.1 メタデータの形式

---

災害リスク情報メタデータ仕様プロファイルを採用する。

### 8.2 記載項目

---

災害リスク情報メタデータ仕様プロファイルを採用する。

### 8.3 作成単位

---

データ整備単位による。

## 9. その他

---